

平成29年度 子どもの読書活動に関するアンケート調査結果（児童、生徒等対象）

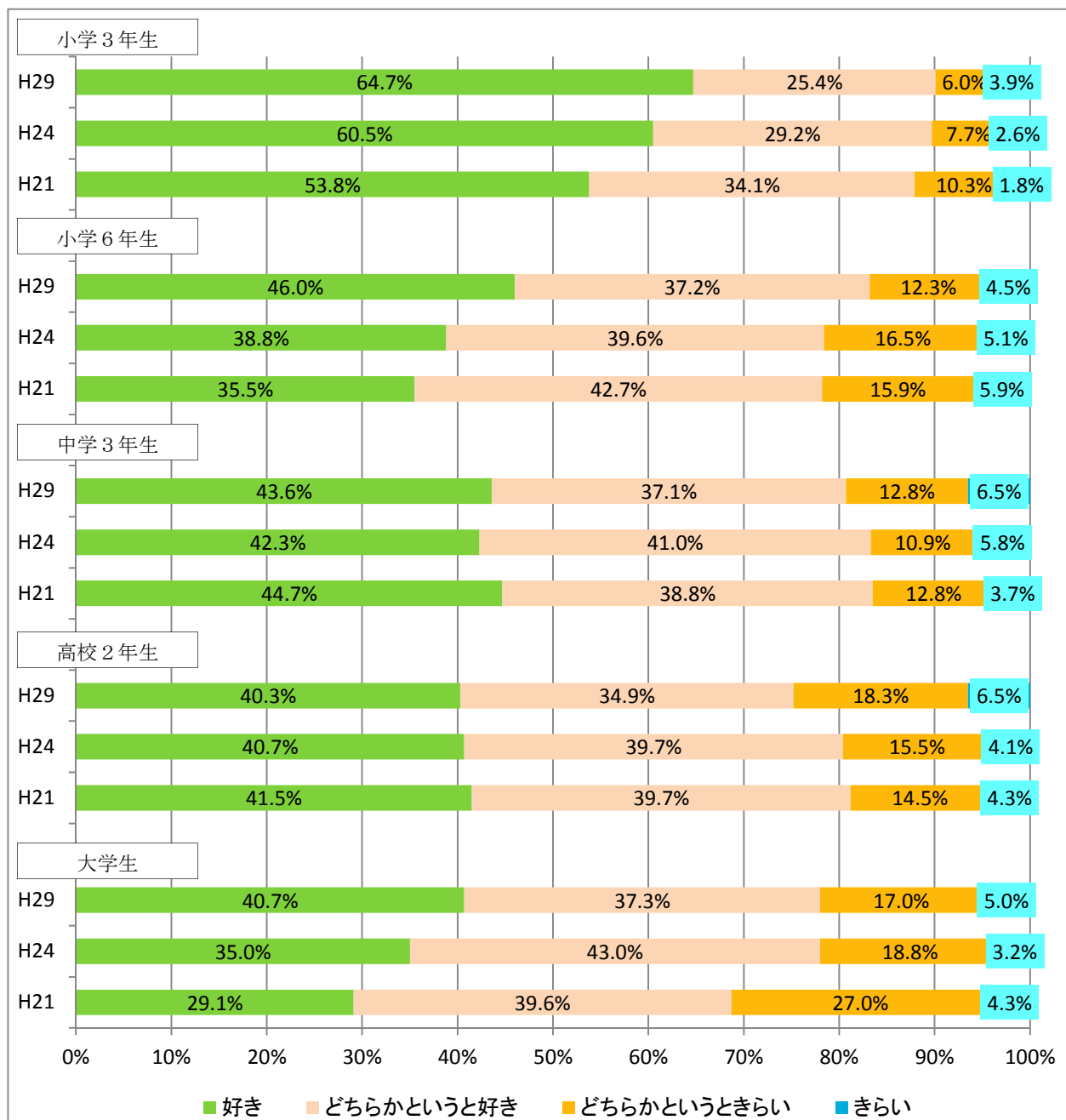
1 調査対象

	小学校 3年生	小学校 6年生	中学校 3年生	高等学校 2年生	大学生	合計
調査対象校数	23	23	18	8	4	76
アンケート 回収枚数	706	746	606	279	241	2,578

2 調査結果

問1 あなたは、読書が好きですか。

※有効回答数 小3：700、小6：739、中3：601、高2：278、大：241

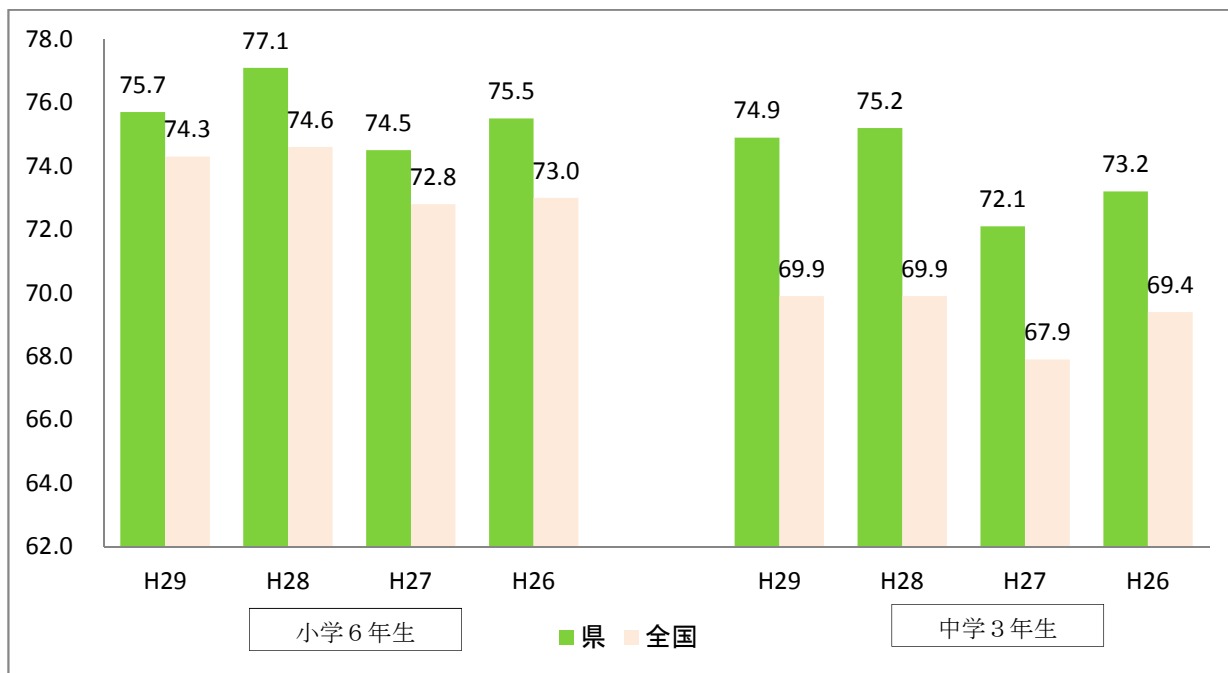


- ・前回調査と同様の傾向であり、大学生を除き、学年が上がると読書が「好き」「どちらかという好き」の割合は減少している。
- ・小学生では、読書が「好き」「どちらかという好き」が前回調査から増加しているが（小3：+0.4ポイント、小6：+4.8ポイント）、中学生・高校生では減少し（中：△2.6ポイント、高：△5.2ポイント）、大学生では横ばいとなっている。
- ・高校2年生以外のすべての調査対象で、読書が「好き」が増加している（小3：+4.2ポイント、

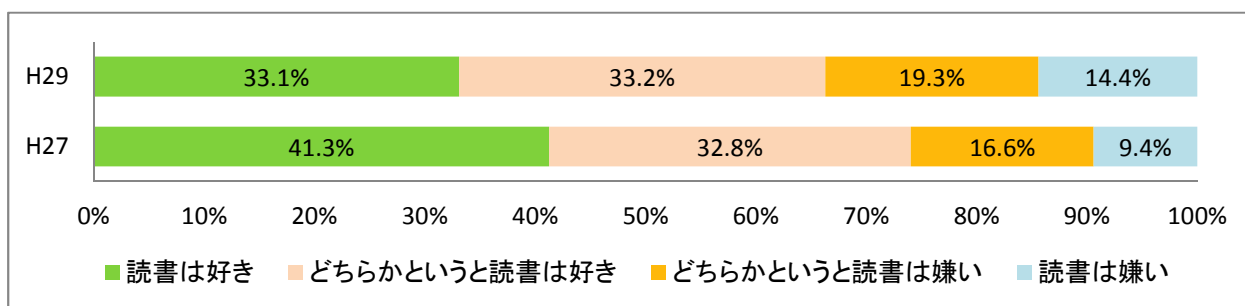
小6：+7.2ポイント、中3：+1.3ポイント、大：+5.7ポイント）一方で、小学6年生以外のすべての調査対象で「嫌い」が増加（小3：+1.3ポイント、中3：+0.7ポイント、高：+2.4ポイント、大：+1.8ポイント）しており、二極化が見られる。

＜参考＞全国学力・学習状況調査 児童・生徒質問調査結果（平成26年度～平成29年度実施）から抜粋

「読書は好きだ」という項目に対する肯定的回答の割合



＜参考＞株式会社クロスマーケティング 読書に関するアンケート（2017年版）から抜粋
読書の好感度

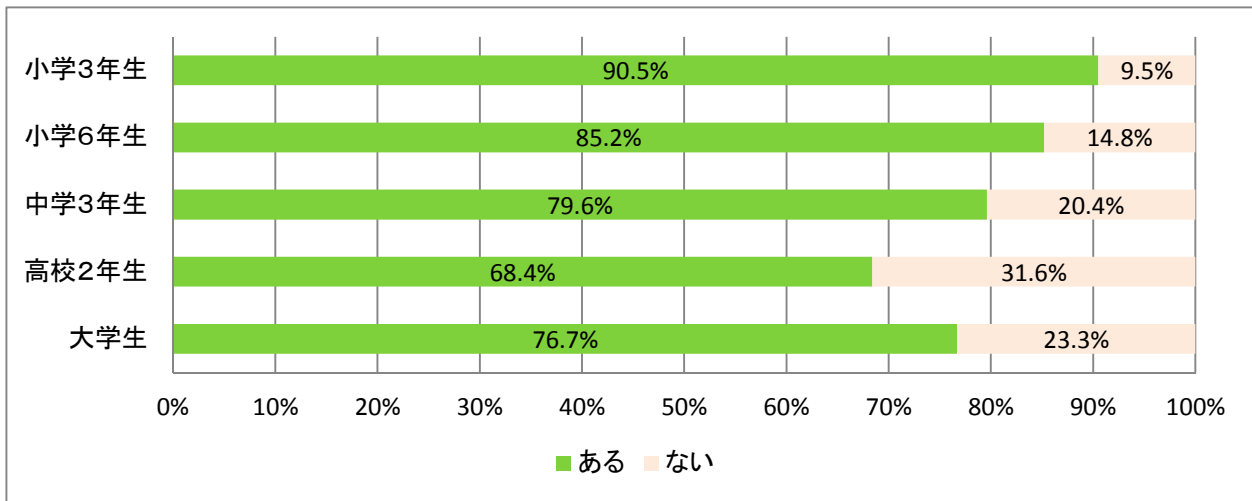


※調査対象：東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の15～69歳の男女（有効回答数1,200）

※調査期間：平成29年10月18日～10月19日

問2 あなたは好きな本がありますか。

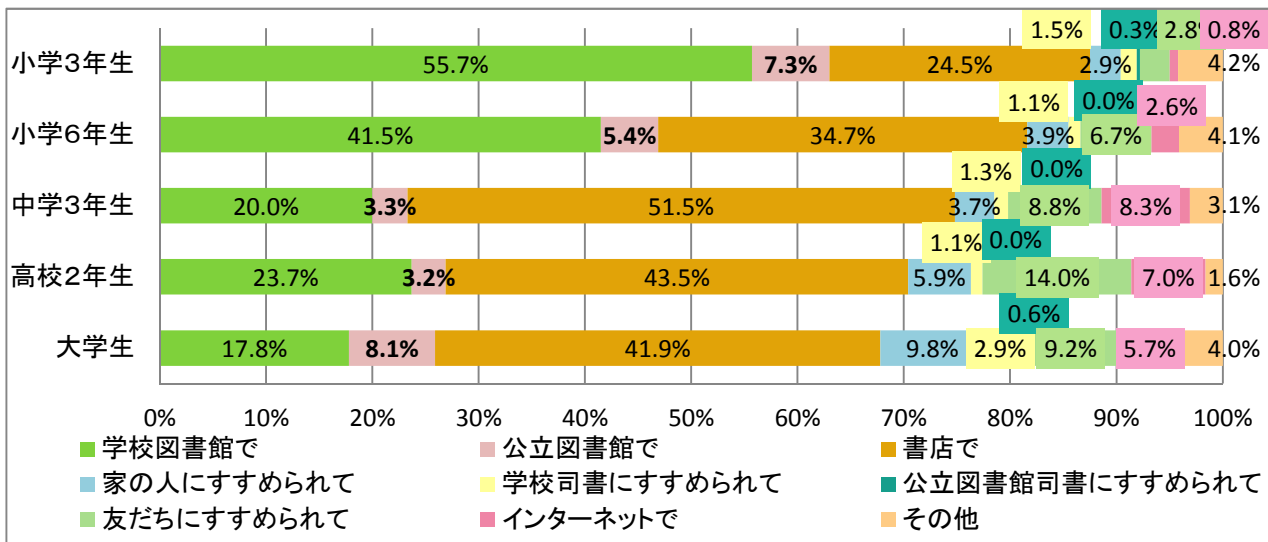
※有効回答数 小3：694、小6：735、中3：592、高2：275、大：236



- ・どの調査対象においても「(好きな本が) ある」の割合が高いが、大学生を除き、学年が上がるほど減少している。

問3 問2で「ある」と答えた方にお聞きます。あなたは好きな本にどこで(どのように)出会いましたか。

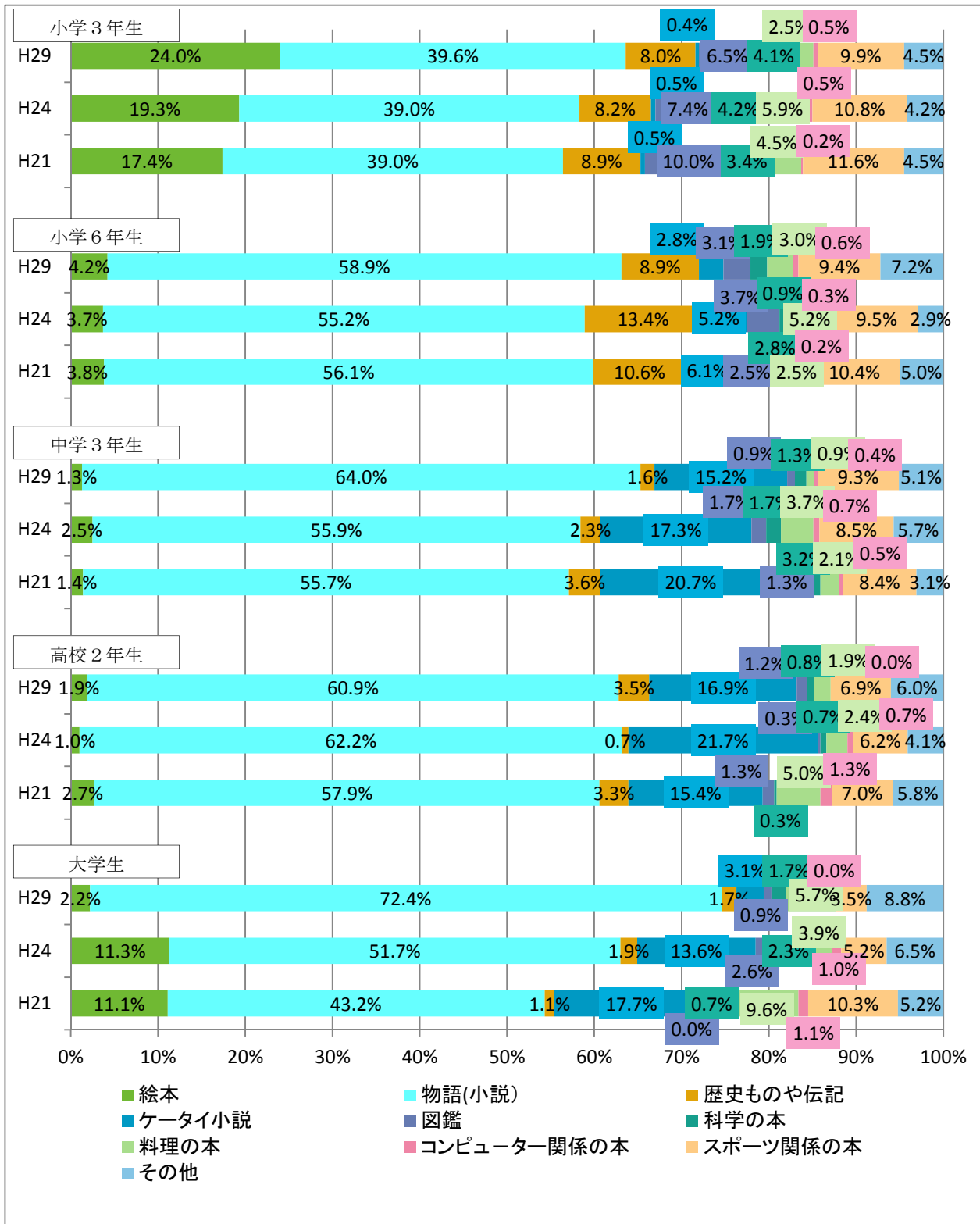
※有効回答数 小3：616、小6：612、中3：456、高2：186、大：174



- ・小学生では「学校図書館で」好きな本に出会う割合が高い。子どもだけの行動範囲が限られるため、身近な場所で本に触れる機会が多いと想定される。
- ・中学生以上になると「書店で」好きな本に出会う割合が高くなっていく。子どもだけの行動範囲が広がり、一人で書店に行くことができる機会が増えることが理由として推測される。
- ・「家の人にすすめられて」「友だちにすすめられて」が一定程度存在し、学年が上がるほど増える傾向がある (小6：10.6%、中：12.5%、高：19.9%、大：19%)。

問4 あなたは、どんな本をよく読みますか。

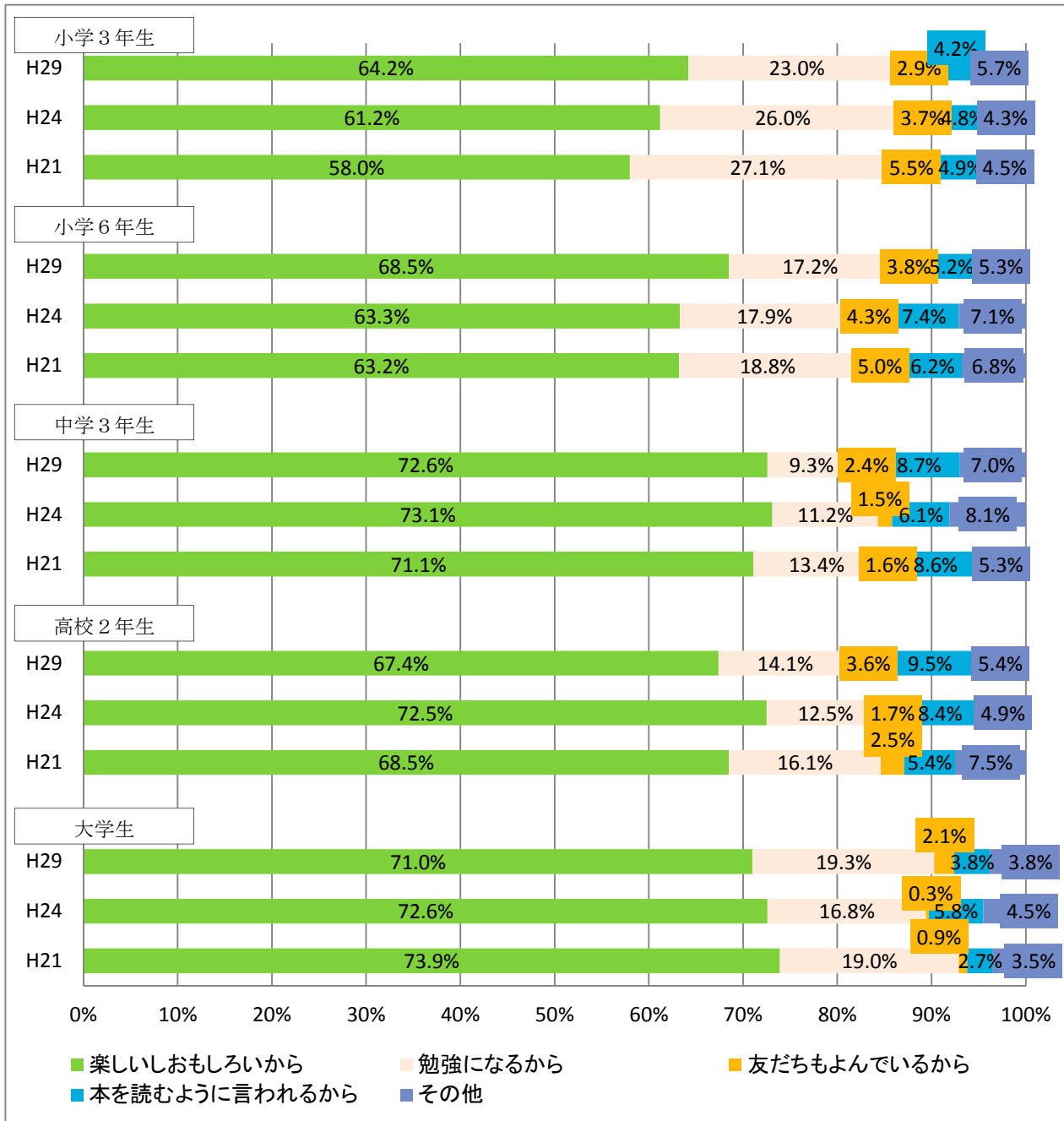
※有効回答数 小3：566、小6：642、中3：558、高2：261、大：228



- ・すべての調査対象において「物語（小説）」が最も高く、その傾向は前回調査と変わらない。
- ・中学生、高校生では、他の調査対象と比較し「ケータイ小説」が多い。個人でスマートフォンを所有する時期と重なることが背景にあると思われる。

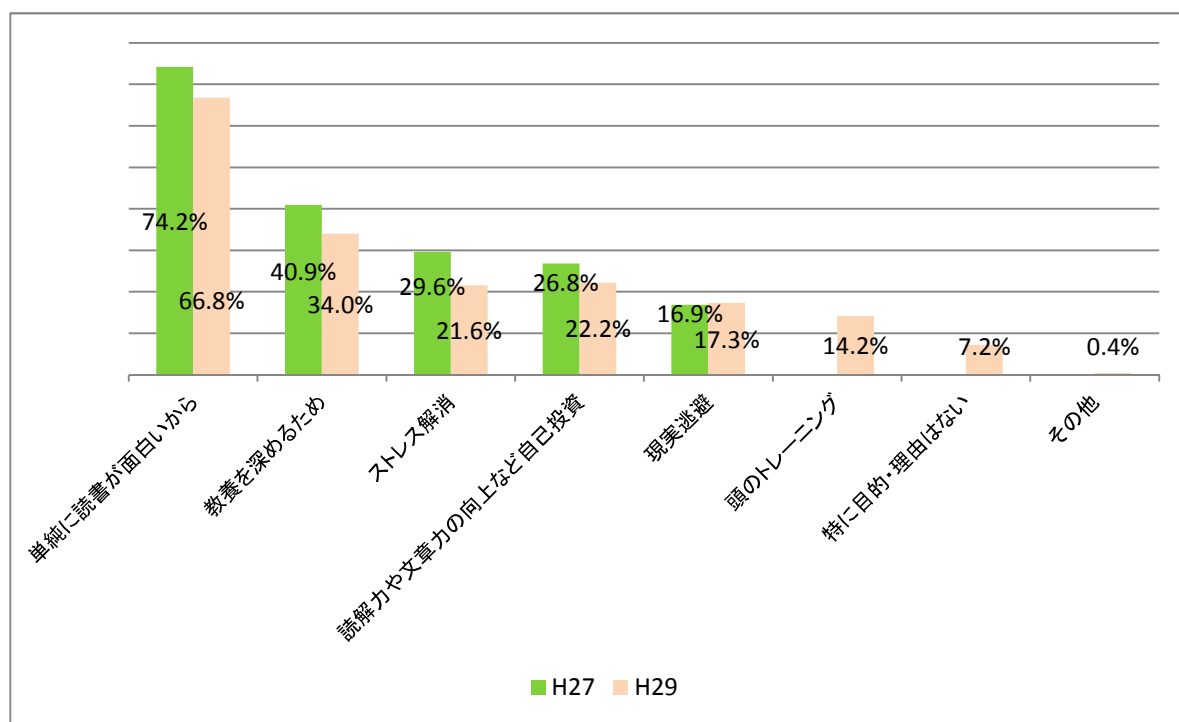
問5 本を読むのはどうしてですか。

※有効回答数 小3：696、小6：729、中3：594、高2：276、大：238



・すべての調査対象において「楽しいしおもしろいから」が最も高く、その傾向は前回調査と変わらない。

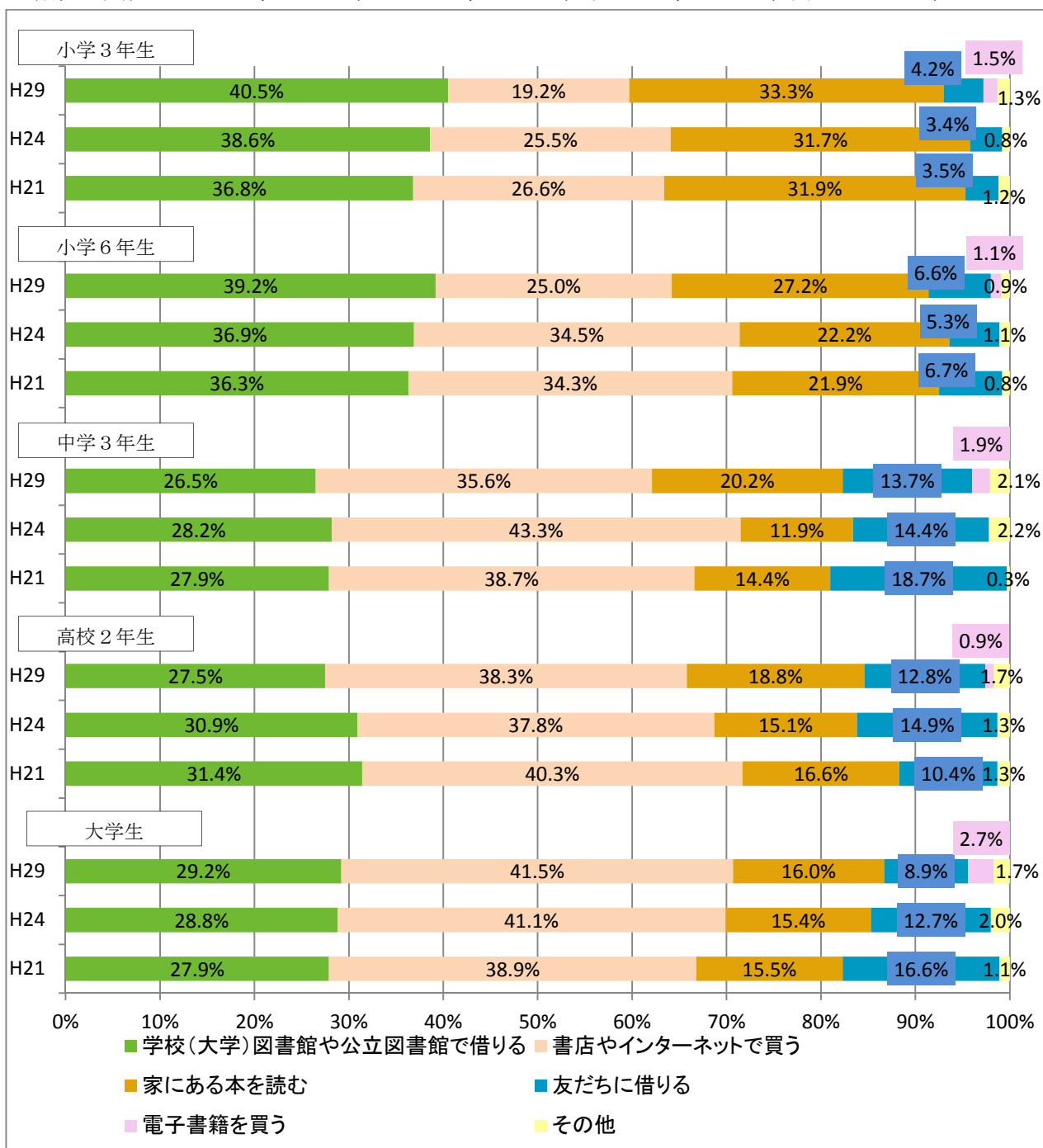
＜参考＞株式会社クロスマーケティング 読書に関するアンケート（2017年版）から抜粋
読書の好感度



※調査対象：東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の15～69歳の男女（有効回答数1,200）
※調査期間：平成29年10月18日～10月19日

問6 あなたは、本をどのように準備していますか。(複数回答可)

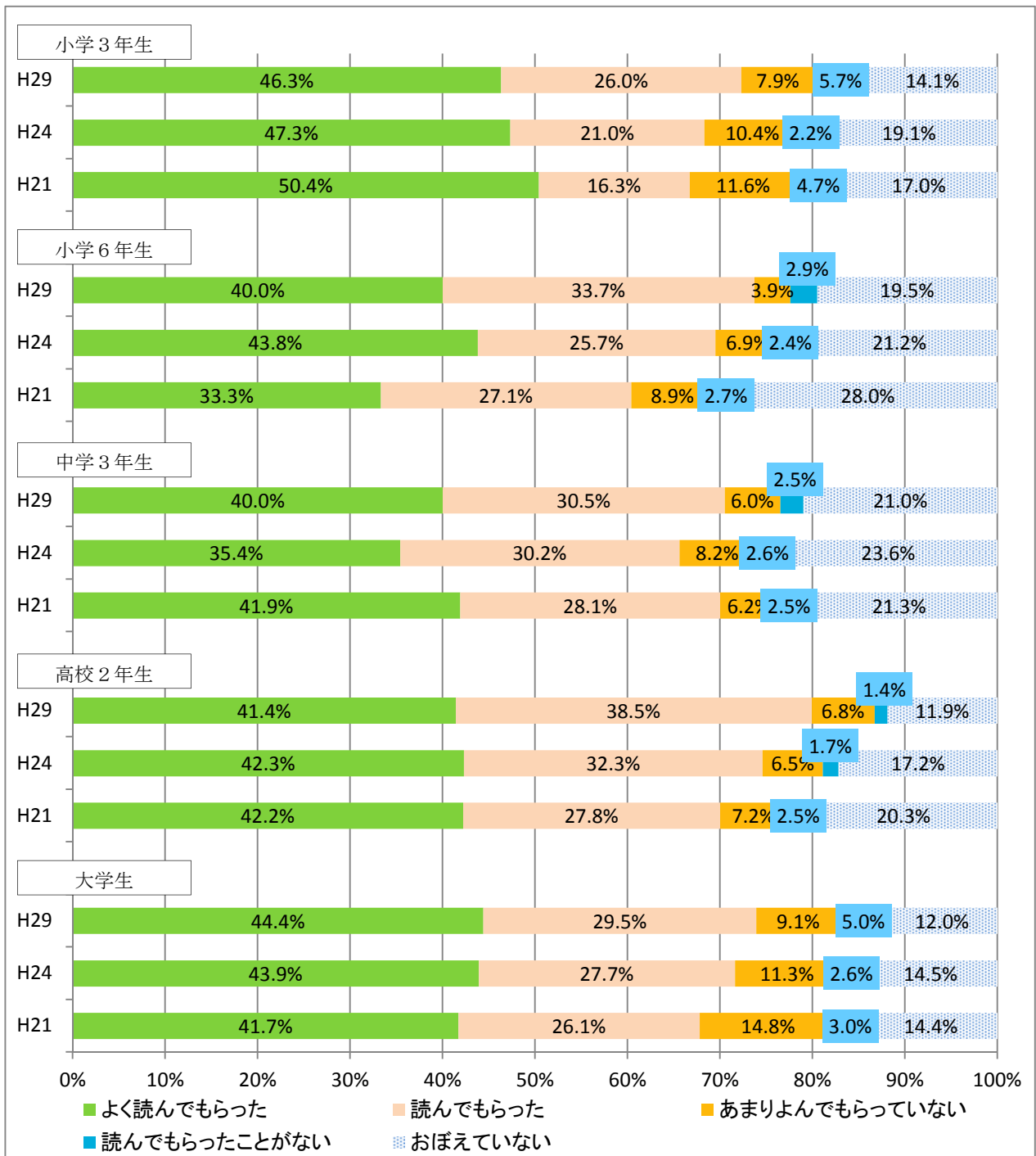
※有効回答数 小3：1,266、小6：1,387、中3：1,050、高2：447、大：407



- ・前回調査同様、小学生では「学校図書館や公立図書館で借りる」が最も多い(小3：40.5%、小6：39.2%)。
- ・前回調査同様、中学生以上になると、「書店やインターネットで買う」が最も多くなる(中：35.6%、高：38.3%、大：41.5%)。子どもたち自身の行動範囲の広がりや、スマートフォンの所有、また、図書館にある本と読みたい本が違うことや、自分の手元に本を置いておきたい等も理由として考えられる。

問7 あなたは、小さい頃、家の人に絵本等を読んでもらったことがありますか。

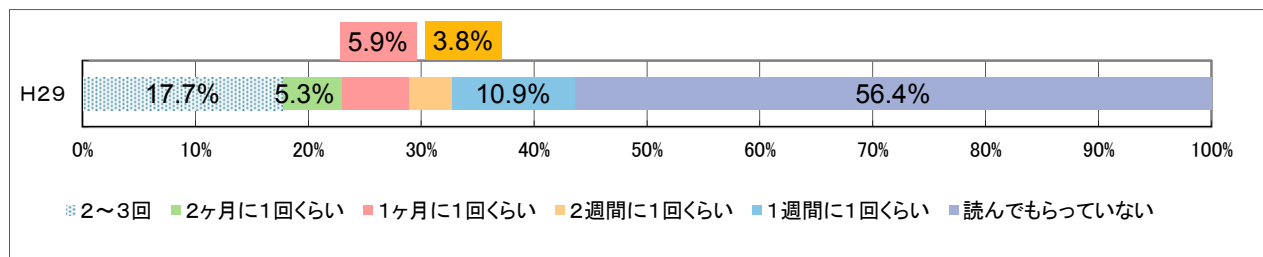
※有効回答数 小3：700、小6：738、中3：600、高2：278、大：241



・どの調査対象でも「よく読んでもらった」「読んでもらった」が7割を超える。また、前回調査よりその割合は高くなった（小3：+4ポイント、小6：+4.2ポイント、中3：+4.9ポイント、高2：+5.3ポイント、大：+2.3ポイント）。家庭における読み聞かせが普及していると思われる。

問8 (小学3年生のみの設問) あなたは3年生になってから、家の人に絵本などを読んでもらいましたか。

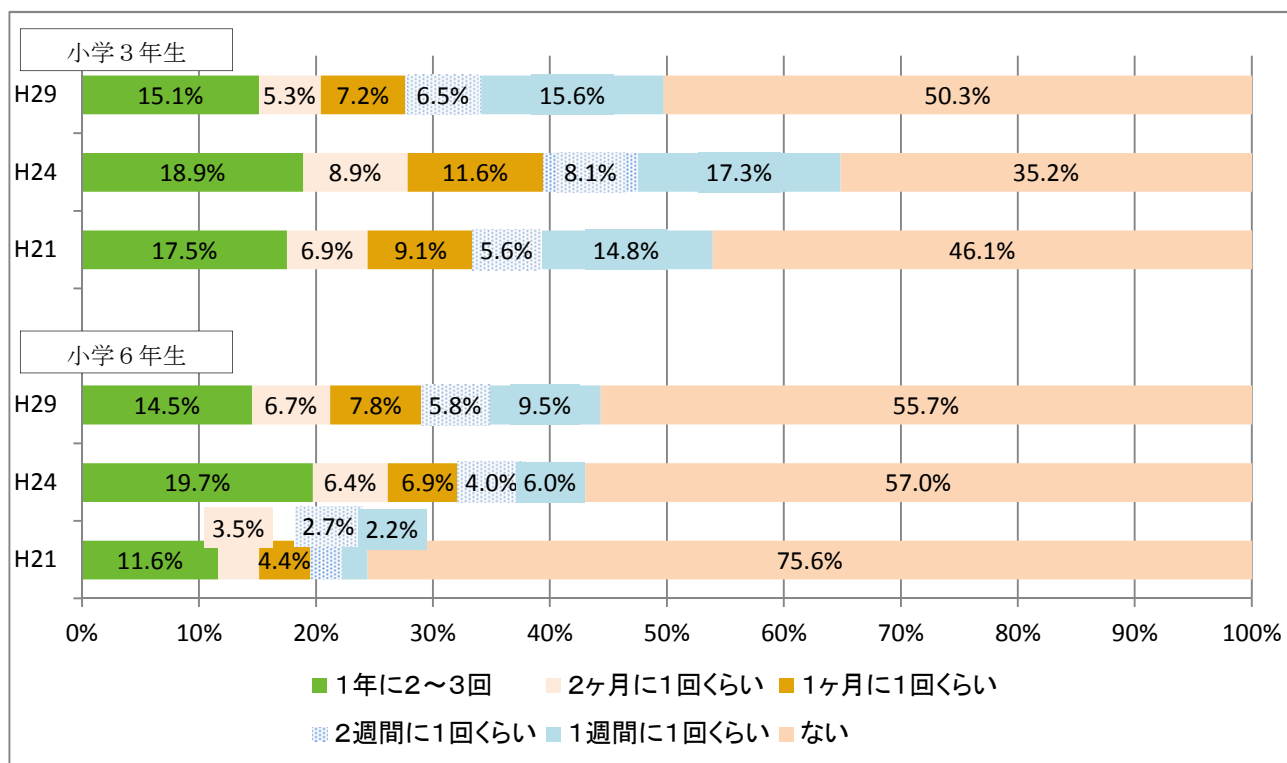
※有効回答数 小3：690



・小学3年生になると、6割弱が家庭で読み聞かせをしてもらっていない。自分で本を読む力がついてきていることが背景にあると考えられる。

問9 (小学生のみの設問) あなたの家では、家の人と同じ本を読んだり、違う本を同じ時間に読んだりすることはありますか。

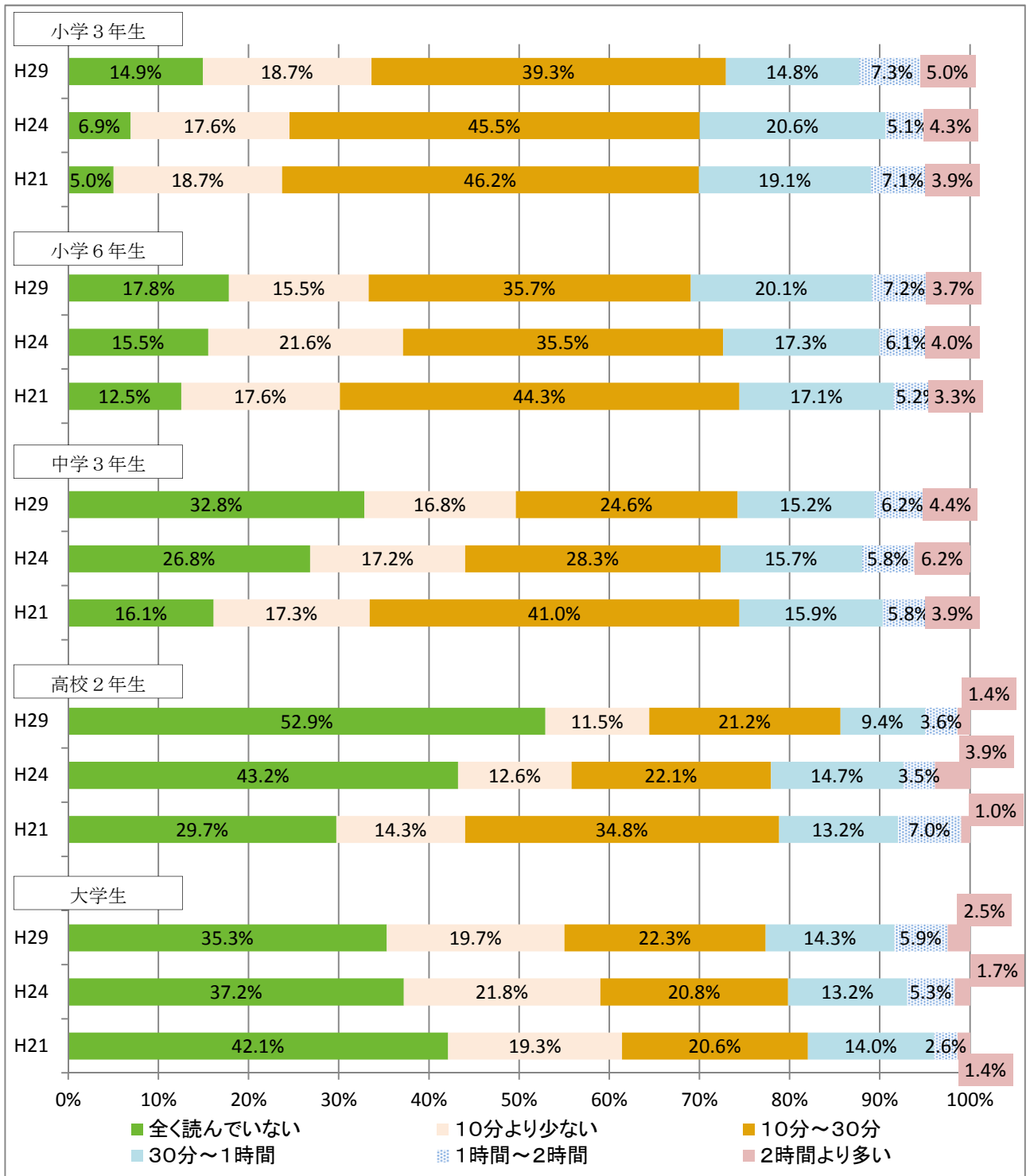
※有効回答数 小3：694、小6：729



・どちらの調査対象も「家読」の習慣がない割合が半数を超える。自分で読む力がついてきていることや、保護者が家事や仕事等で子どもたちと時間が合わないことが理由として考えられる。

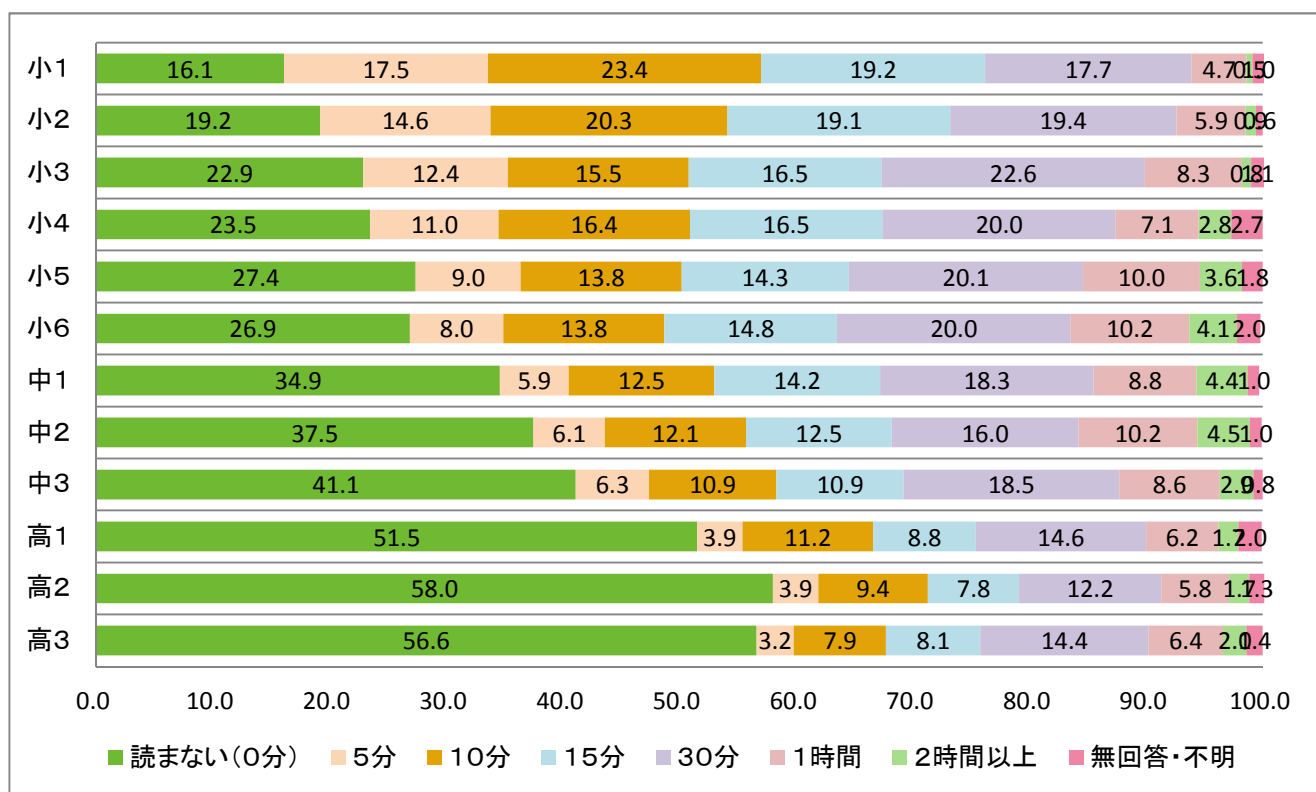
問10 あなたは、学校（大学）以外で、平日（月～金曜日）、1日どれくらいの時間読書をしますか。

※有効回答数 小3：680、小6：725、中3：597、高2：278、大：238



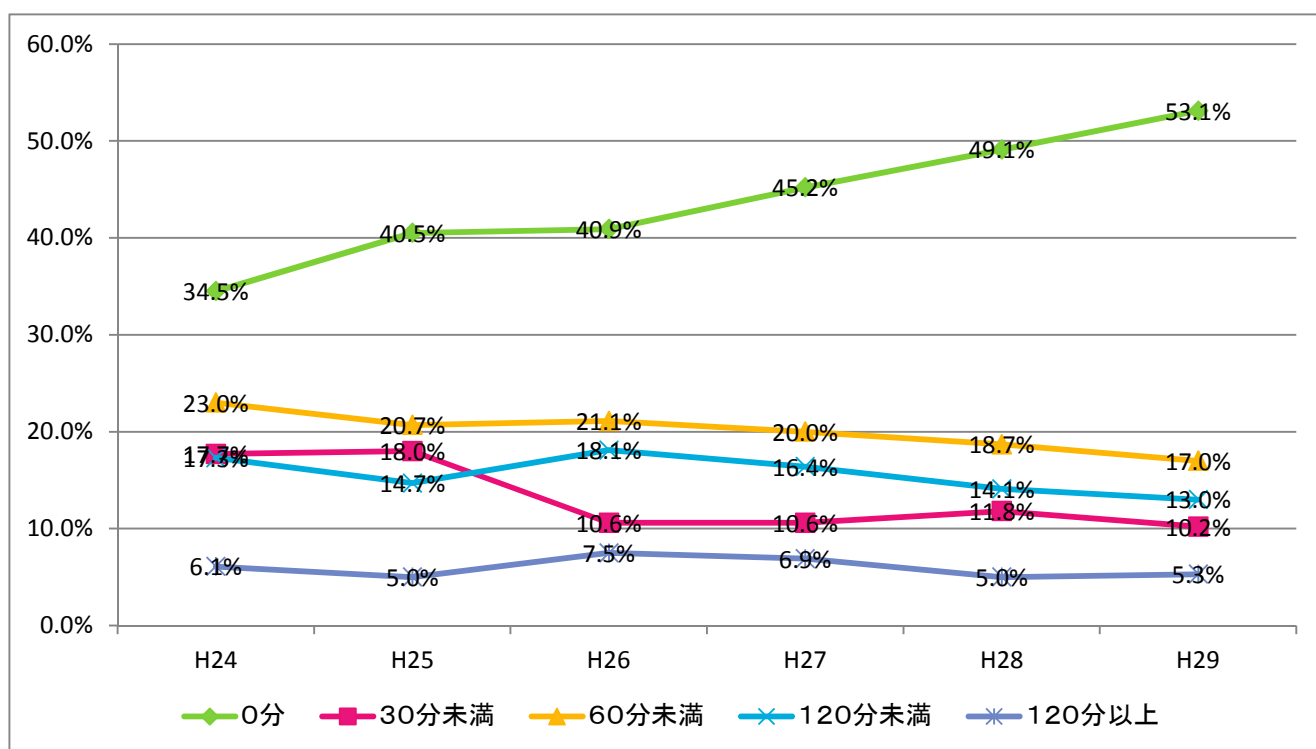
- ・「全く読んでいない」が大学生以外の調査対象で増加している。前回調査から続く傾向。
- ・前回調査同様「全く読んでいない」は大学生を除くと、学年が上がるに従って増加する傾向にある（小3：14.9%、小6：17.8%、中3：32.8%、高2：52.9%）。特に高校生では5割を超え、勉強や部活に時間を割かれていることのほか、年々増加していることから電子メディアの普及が背景にあることも想像できる。

<参考> 東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所 子どもの生活と学びに関する親子調査
2016年から抜粋 本を読む時間（「あなたはふだん（学校がある日）、次のことをどれくらいの時間やっていますか」という設問に対する回答。）



※調査対象：全国の小学1年生～高校3年生の子どもとその保護者（小1～小3は保護者の回答。小4～高3は子どもの回答）有効回収数16,776（子ども11,982）
※調査期間：2016年7～8月

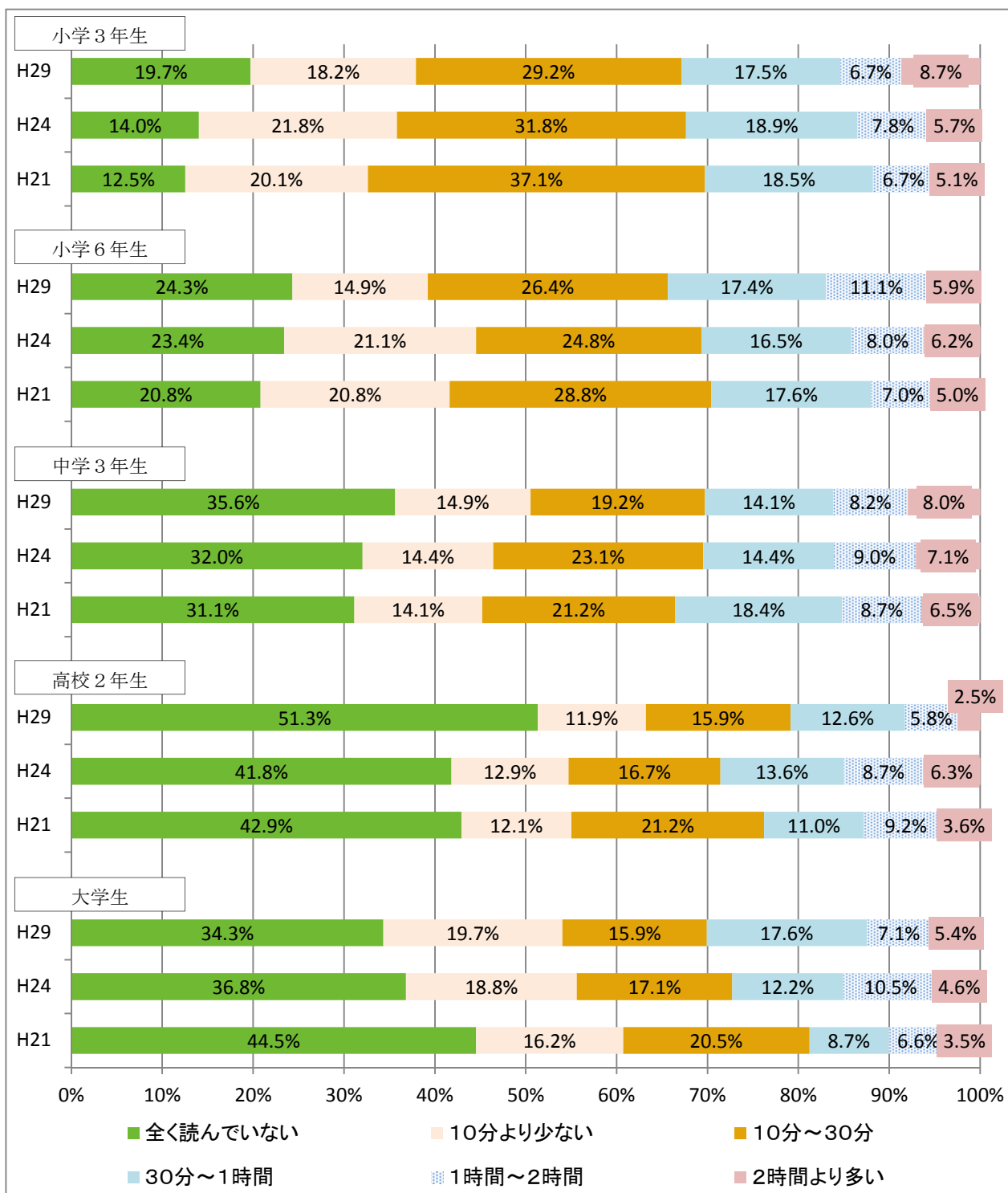
<参考> 全国大学生生活協同組合連合会 第53回学生生活実態調査から抜粋
大学生の一日の読書時間



※調査対象：全国の国公立及び私立大学の学部学生（回収数10,021）
※調査期間：2017年10～11月

問11 あなたは、学校（大学）以外で、休日（土、日、祝日など）に、1日にどれくらいの時間読書を行いますか。

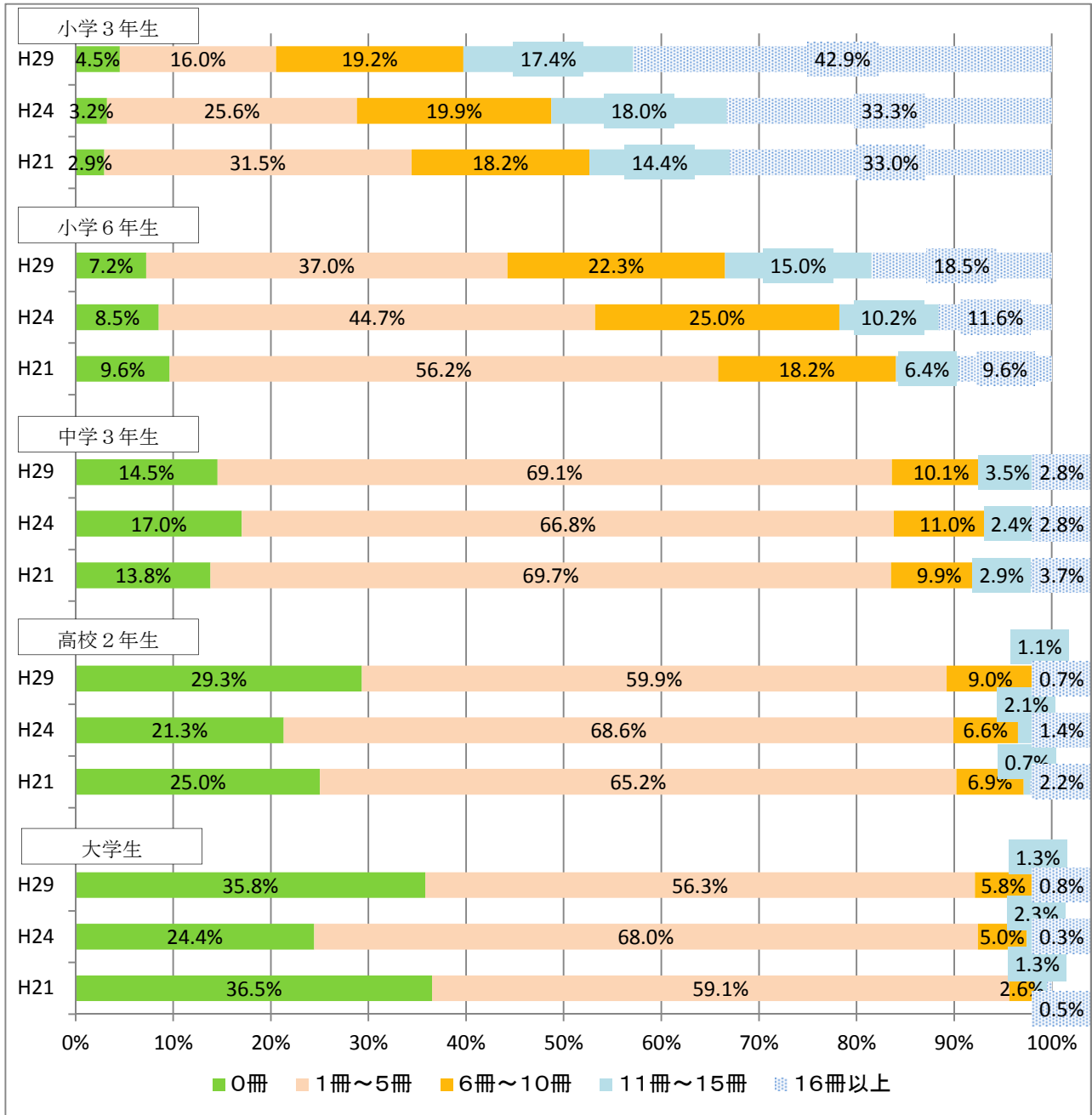
※有効回答数 小3：681、小6：731、中3：598、高2：277、大：239



- ・「全く読んでいない」が大学生以外の調査対象で増加している。前回調査から続く傾向。（平日における読書（問10）と同じ傾向。）
- ・前回調査同様「全く読んでいない」割合は大学生を除くと、学年があがるほど増加する傾向にある（小3：19.7%、小6：24.3%、中3：35.6%、高2：51.3%）。高校生になると5割を超える。（平日における読書（問10）と同じ傾向。）
- ・小学生、中学生では平日よりも休日のほうが読書時間が減る傾向がみられる（問10と比較）。休日は習い事や家族との外出等で読書時間が取れないことが多いと推察する。

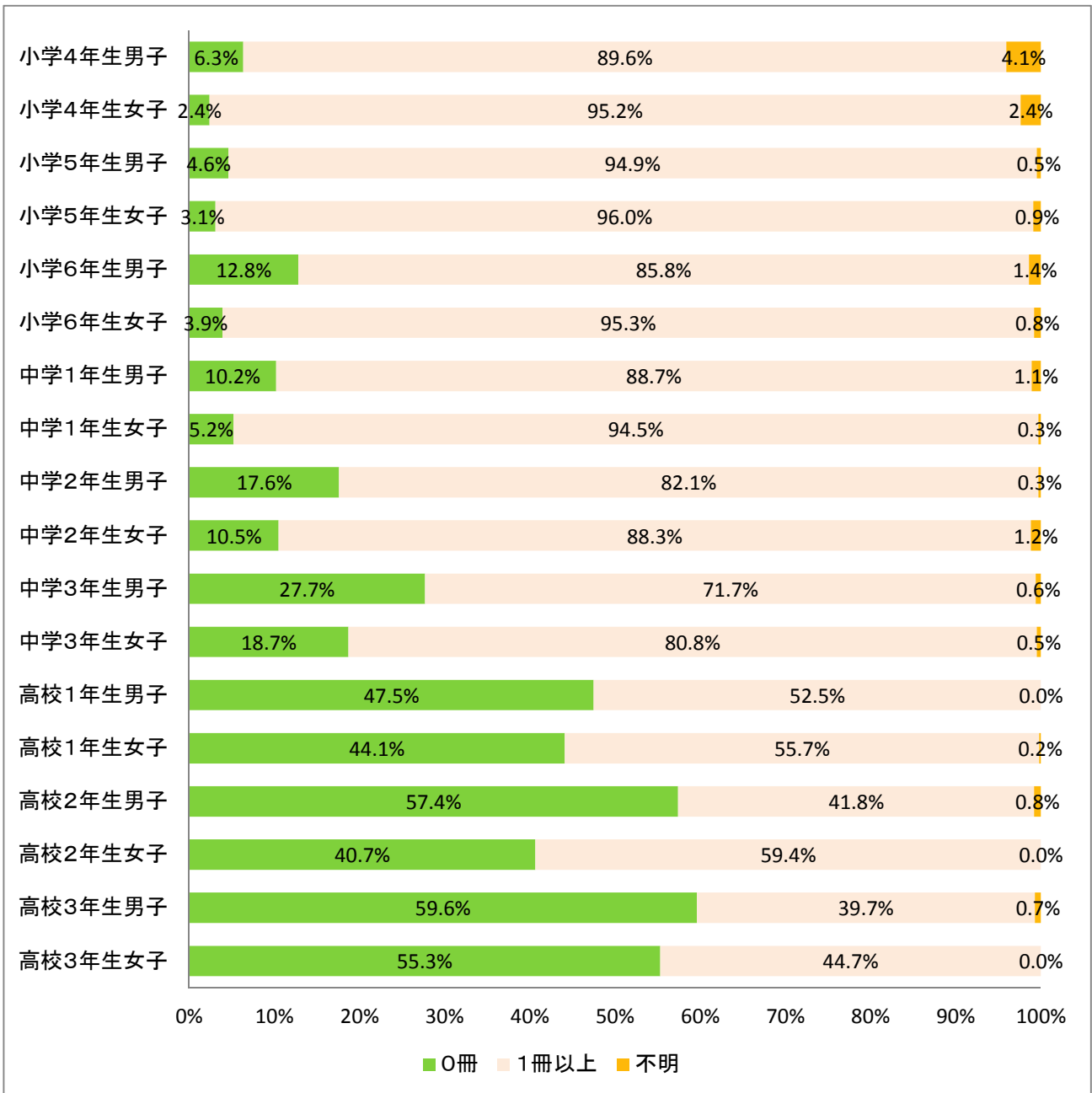
問12 あなたは、この1ヶ月間に何冊本を読みましたか。

※有効回答数 小3：693、小6：735、中3：601、高2：277、大：240



- ・「0冊（一か月に一冊も本を読まない）」の率を前回調査と比較すると、小学生・中学生においては微増減にとどまったものの、高校生は8ポイント、大学生は11.4ポイントと、大きく増加した。
- ・一方で、すべての調査対象で、「6冊以上」が前回調査より増加している（小3：+8.3ポイント、小6：+9.0ポイント、中3：+0.2ポイント、高：+0.7ポイント、大：0.3ポイント）。本を「読む」子どもと「読まない」子どもの差が広がっている。

<参考>全国学校図書館協議会・毎日新聞社 第63回学校読書調査から抜粋
5月一ヶ月に読んだ本の冊数



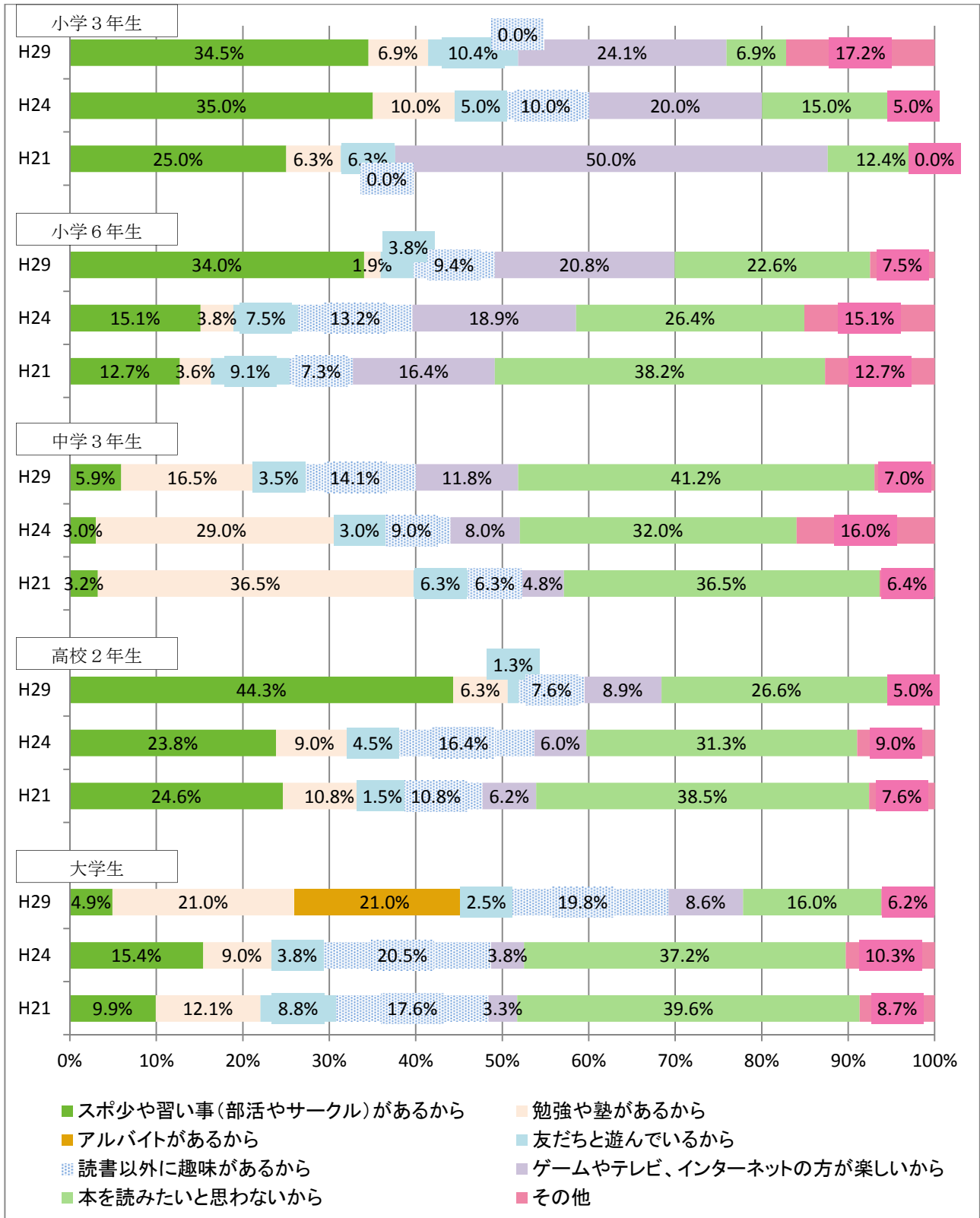
※調査対象：全国の小学生（4～6年生）3,240人、中学生（1～3年生）3,070人、高校生（1～3年生）3,614人の抽出（小・中学校は都市規模別、高校は学科別にサンプル校を抽出し、各学年1クラスで実施）

調査期間：2017年6月1・2週

問13 問12で「0冊」と答えた方にお聞きします。本を読まなかったのはなぜですか。

※有効回答数 小3：29、小6：53、中3：85、高2：79、大：81

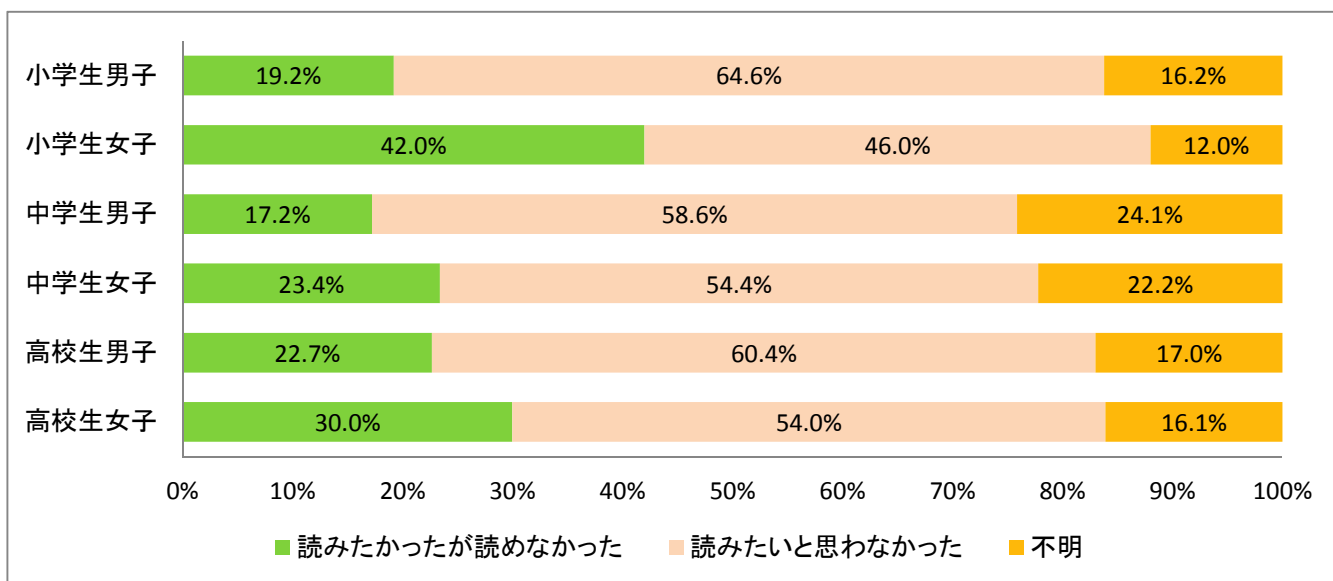
(小3については標本数が50未満のため参考値として示す。また、分析対象から除く。)



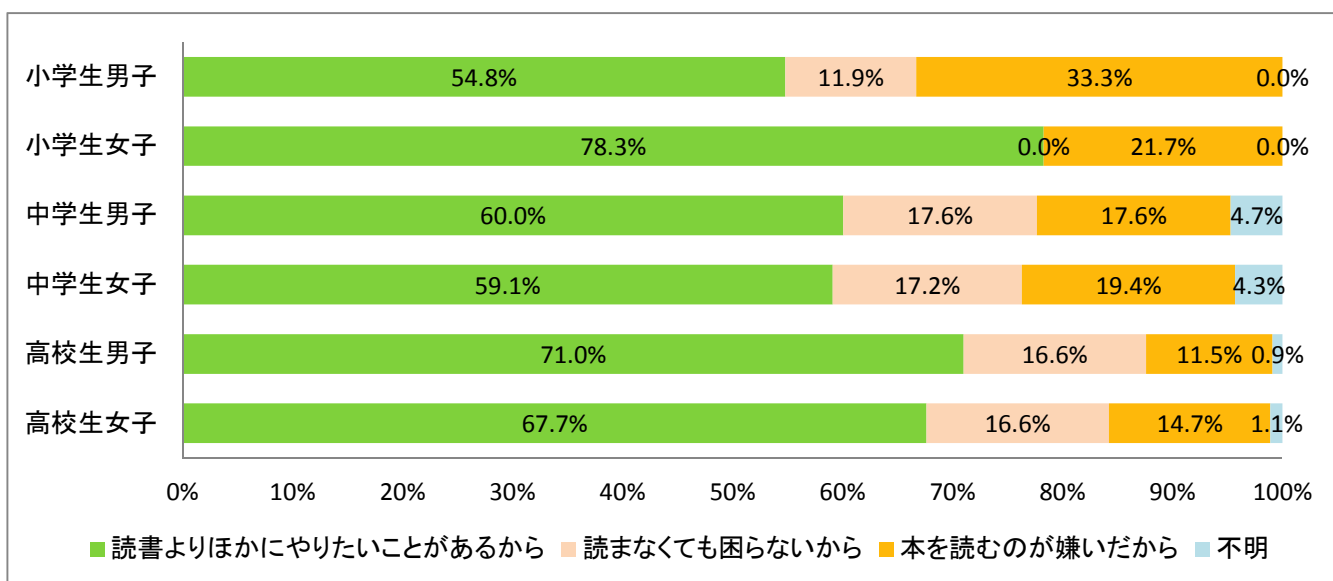
- ・小学生、高校生では「スポーツ少年団や習い事があるから」が最も高い（小3：34.5%、小6：34.0%、高44.3%）。
- ・大学生では「勉強があるから」「アルバイトがあるから」が最も高い（どちらも21.0%）。
- ・中学生は「本を読みたいと思わない」が最も多いが（41.2%）、小学6年生、高校生においても2割を超えており、まずは本を手にするきっかけが必要だと思われる。

<参考>全国学校図書館協議会・毎日新聞社 第63回学校読書調査から抜粋

5月一か月の間に読んだ本の冊数が0冊の子どもの本を読まなかった理由



5月一か月の間に読んだ本の冊数が0冊の子どもが本を読みたいと思わなかった理由

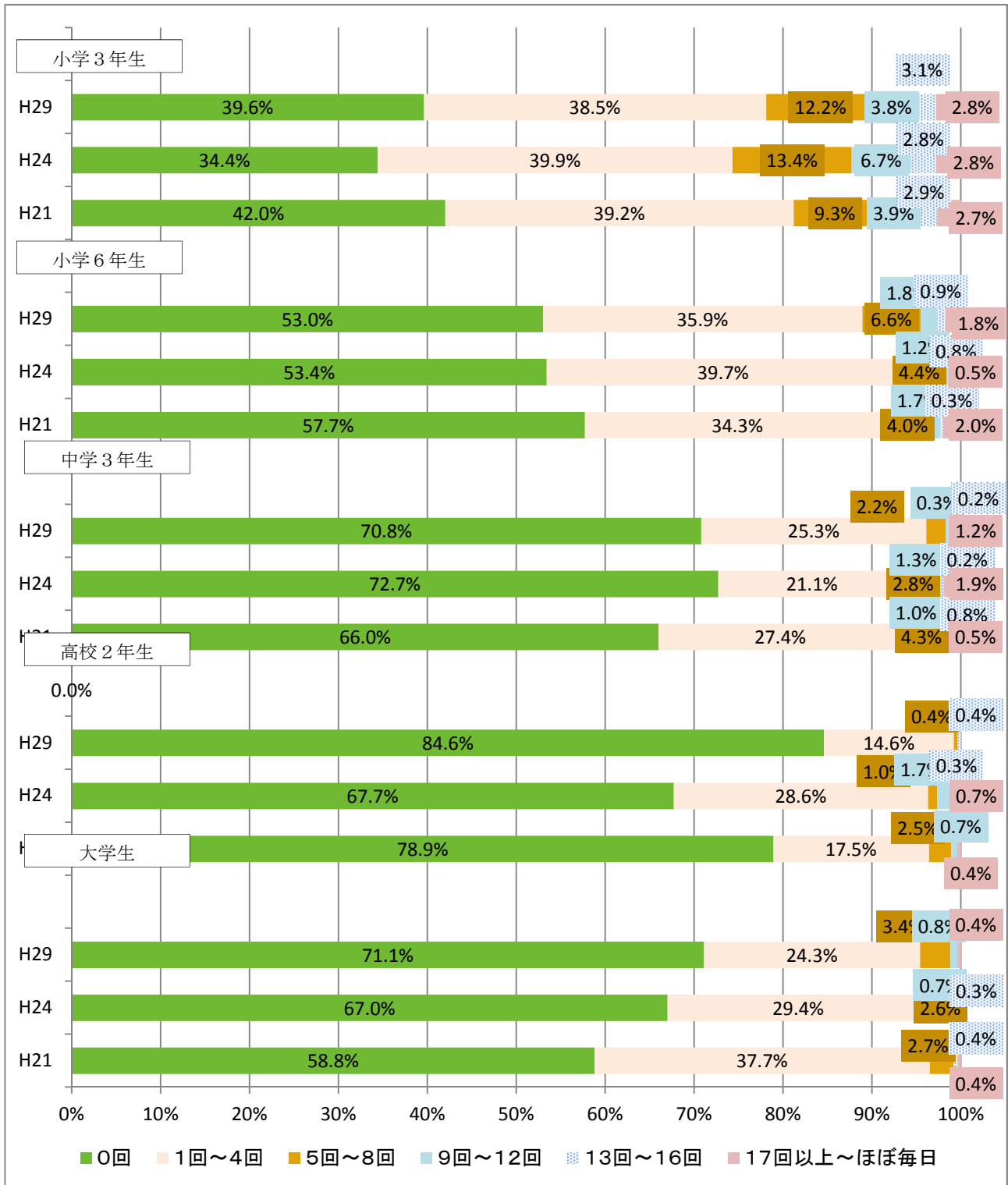


※調査対象：全国の小学生（4～6年生）3,240人、中学生（1～3年生）3,070人、高校生（1～3年生）3,614人の抽（小・中学校は都市規模別、高校は学科別にサンプル校を抽出し、各学年1クラスで実施）

調査期間：2017年6月1・2週

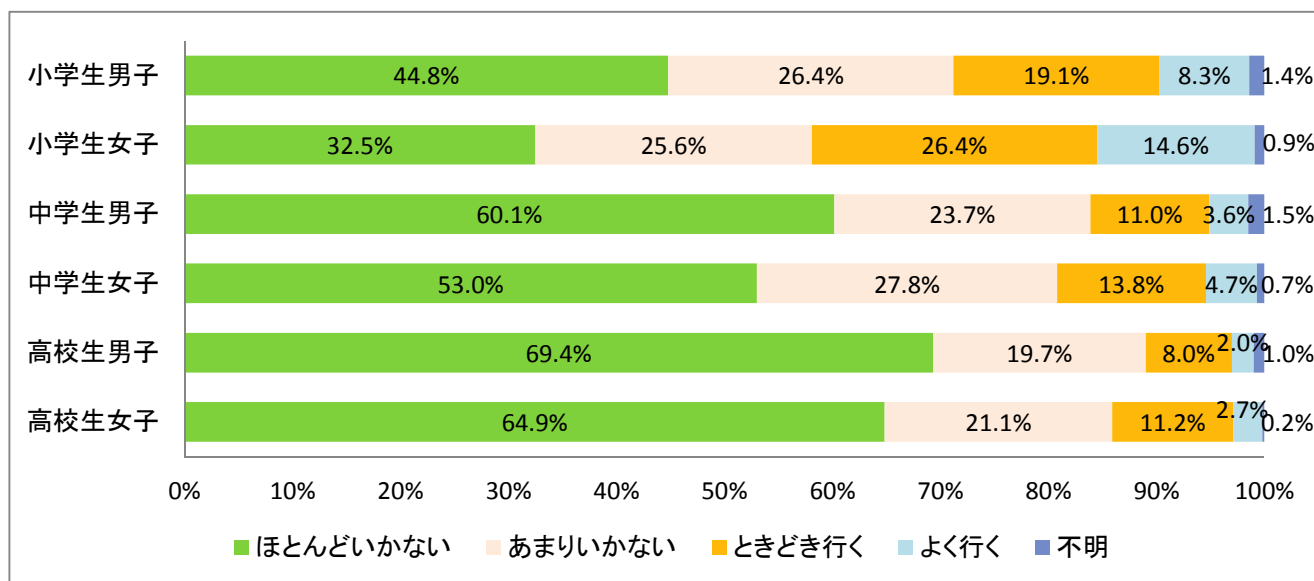
問14 あなたは1ヶ月にどれくらい公立図書館（移動図書館車を含む）に行きますか。

※有効回答数 小3：679、小6：727、中3：586、高2：273、大：235



・前回調査同様「0回」が、どの調査対象でも最も高く、大学生を除き、学年があがるほどその割合が大きくなっている（小3：39.6%、小6：53%、中3：70.8%、高2：84.6%、大71.1%）。

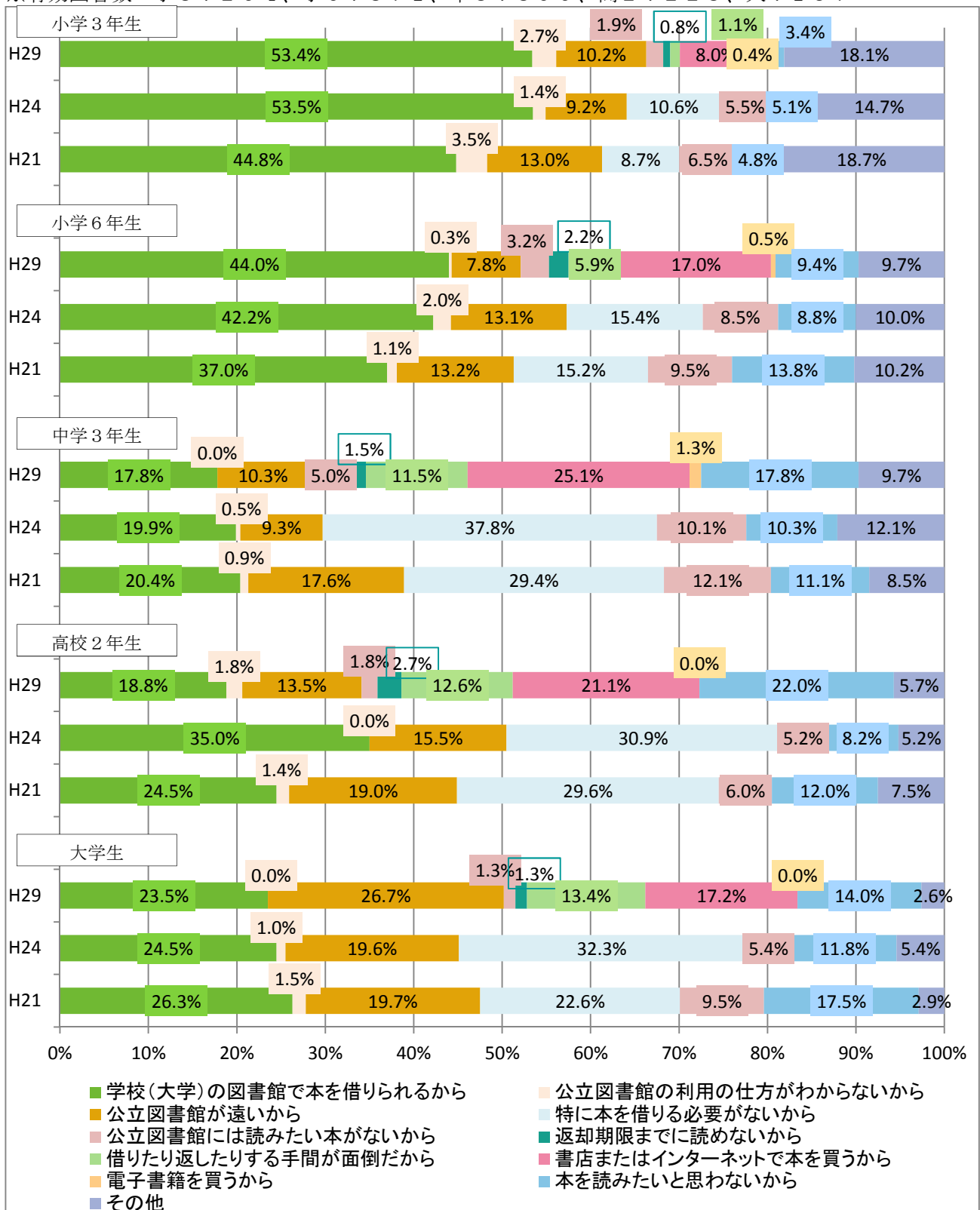
<参考>全国学校図書館協議会・毎日新聞社 第63回学校読書調査から抜粋
本を読むために公共図書館をどのくらい利用するか



※調査対象：全国の小学生（4～6年生）3,240人、中学生（1～3年生）3,070人、高校生（1～3年生）3,614人の抽（小・中学校は都市規模別、高校は学科別にサンプル校を抽出し、各学年1クラスで実施）
調査期間：2017年6月1・2週

問15 問14で「0回」と答えた方にお聞きします。公立図書館（移動図書館車を含む）へ行かないのはなぜですか。

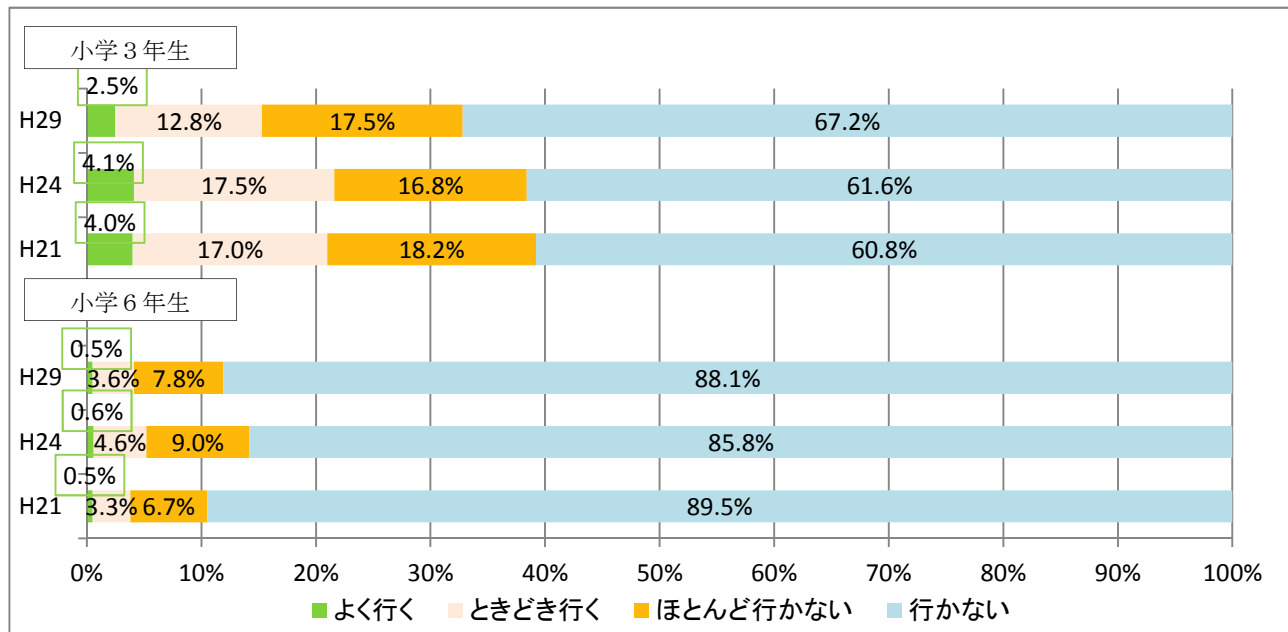
※有効回答数 小3：264、小6：371、中3：399、高2：223、大：157



- 小学生は「学校(大学)の図書館で本を借りられるから」が最も多く(小3：53.4%。小6：44.0%)、前回調査と同じ傾向。子どもだけの行動範囲に限られるため、より身近な場所で本を手にする傾向があると思われる。
- 中学生では「書店またはインターネットで本を買うから」が最も多くなる(中25.1%)。高校生でも21.1%であり、行動範囲が広がることやスマートフォンを所持し始めることが理由として考えられる。
- 高校生では「本を読みたいと思わないから」が最も多い(22%)。中学生以上でも「本を読みたいと思わない」が比較的多く見られる(中：17.8%。大：14%)。まずは本を手にするきっかけを作ることが必要だと思われる。

問16 (小学生のみの設問) あなたは、公立図書館で行われる「おはなし会」に行くことがありますか。

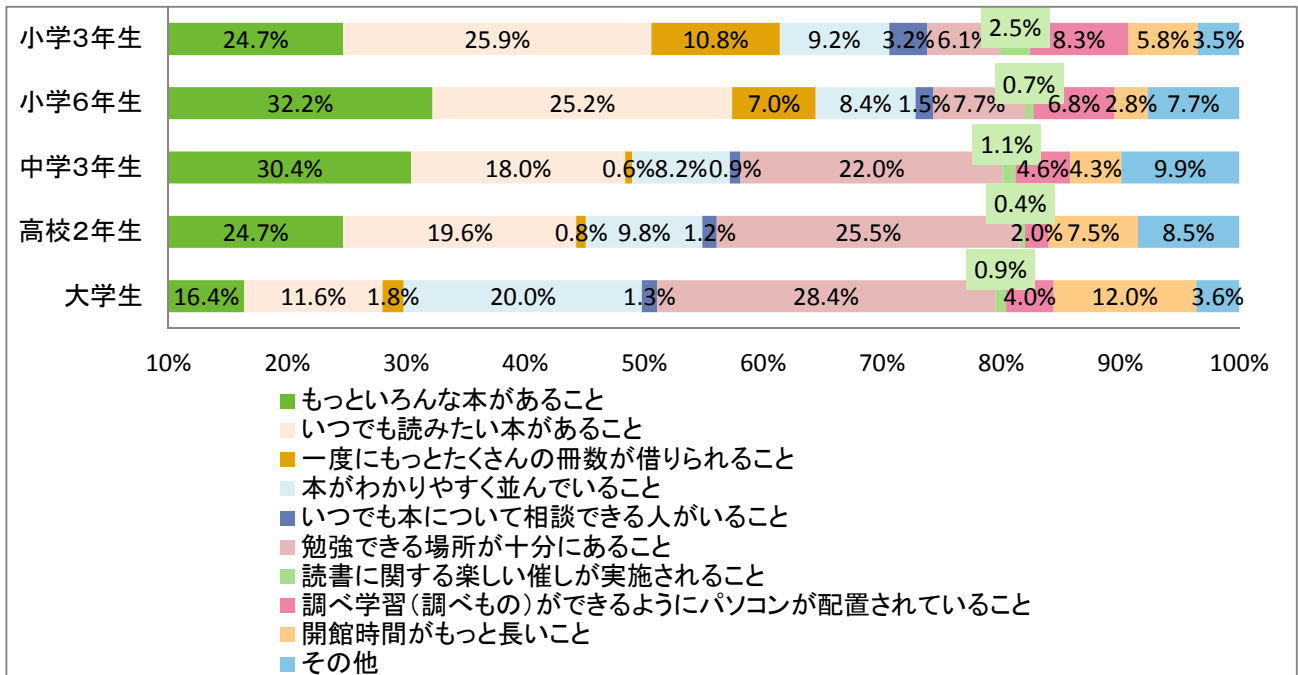
※有効回答数 小3：650、小6：689



・前回調査同様、どちらの調査対象でも「行かない」が最も多い(小3：67.2%、小6：88.1%)。

問17 あなたが、公立図書館に一番望むことは何ですか。

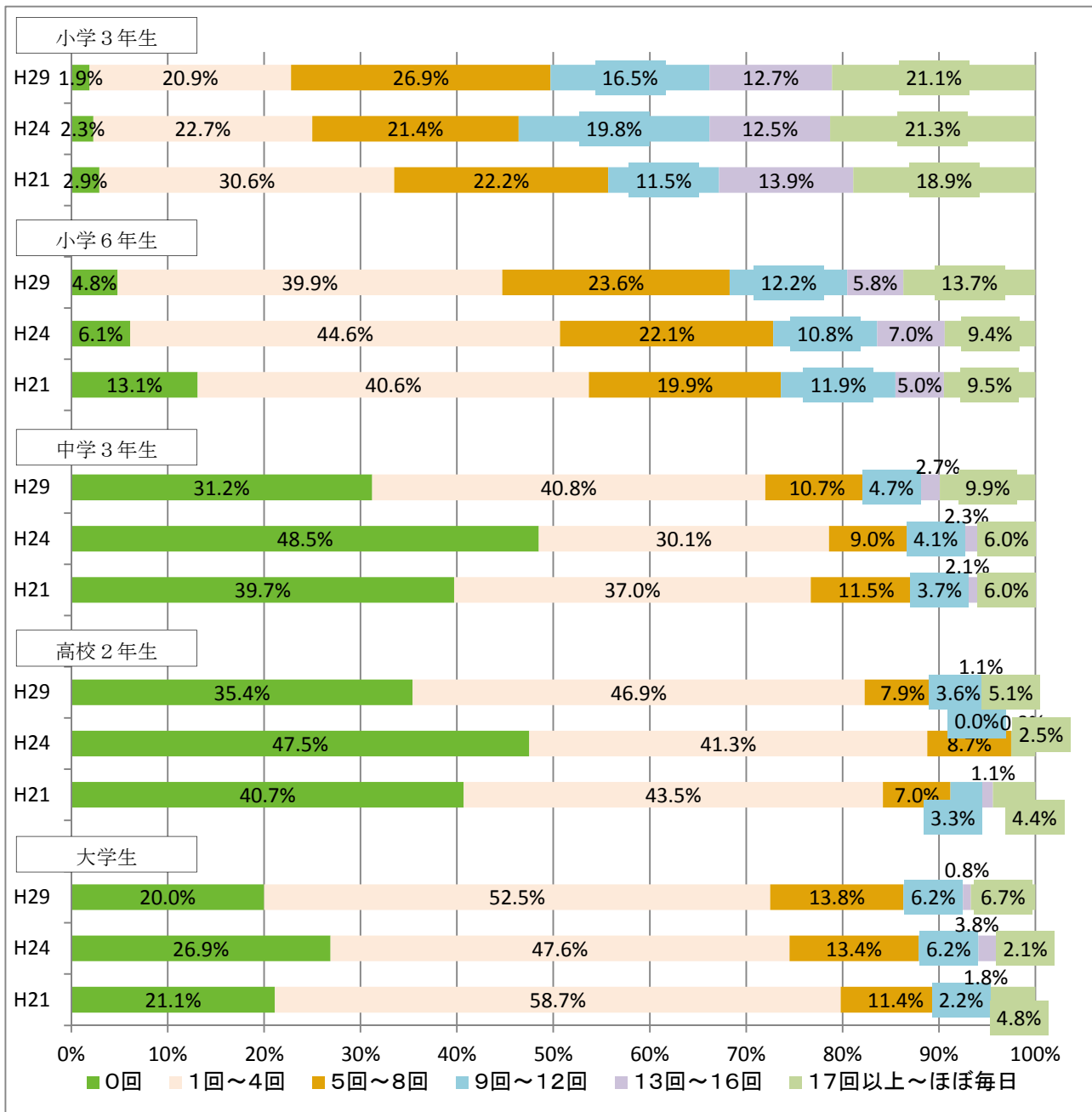
※有効回答数 小3：688、小6：718、中3：540、高2：255、大：225



- ・小学生では「もっといろんな本があること」(小3：24.7%、小6：32.2%)「いつでも読みたい本があること」(小3：25.9%、小6：25.2%)、中学生、高校生では「もっといろんな本があること」(中：30.4%、高：24.7%)が上位を占める。図書館にある本と子どもたちの読みたい本が一致していないことや、読みたい本がいつも貸し出し中で借りられなかったりする状況があると考えられる。
- ・中学生以上になると「勉強できる場所が十分にあること」が増える(中：22%、高：25.5%、大：28.4%)。図書館に学習場所としての役割を期待していることが読み取れる。
- ・大学生になると「本がわかりやすく並んでいること」が2番目に多くなり(20%)、専門書等をすぐに見つけることを期待しているものと思われる。
- ・中学生以上では、学年が上がるほど「開館時間をもっと長いこと」を望む傾向があり(中：4.3%、高：7.5%、大：12.0%)、個人で行動する時間帯が増えていく年代でもあることから、自分の都合のよい時間に図書館を利用したい思いが読み取れる。
- ・「調べ学習ができるようにパソコンが配置されていること」は大学生を除いて学年が上がるほど減少の傾向がある。(小3：8.3%、小6：6.8%、中：4.6%、高2.0%)。学年が上がるほど個人でスマートフォン等を所持する割合が増加するため、調べ学習に図書館のパソコンを必要としないことが考えられる。

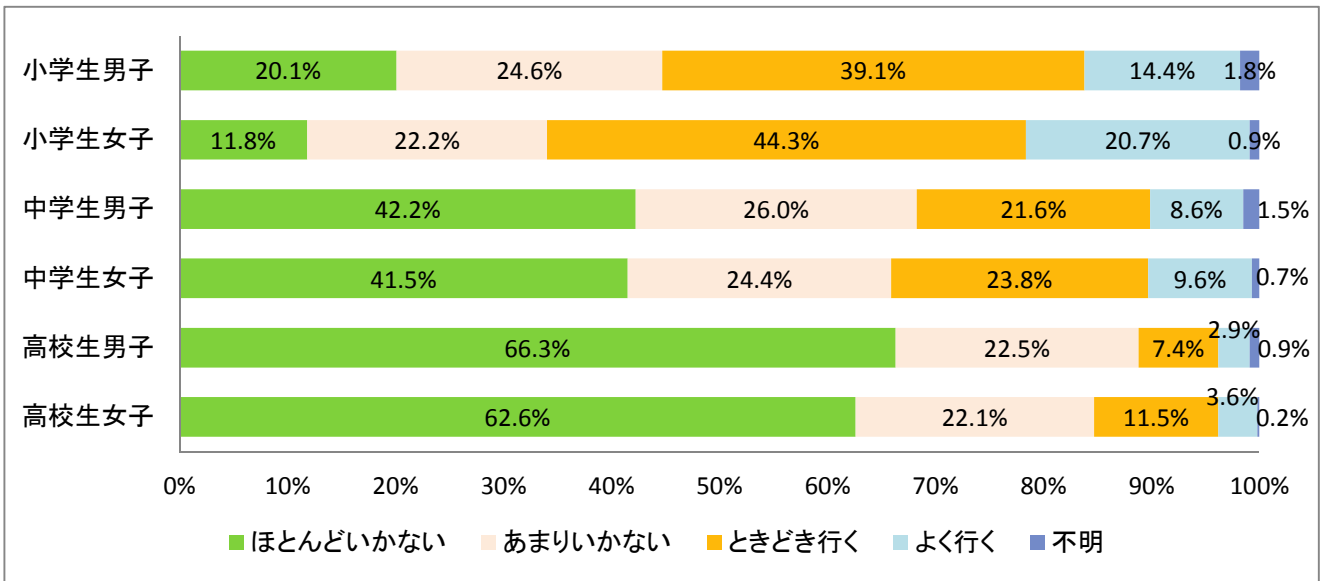
問18 あなたは、1ヶ月にどれくらい学校（大学）の図書館に行きますか。

※有効回答数 小3：695、小6：737、中3：600、高2：277、大：240



- ・どの調査対象でも「公立図書館」よりは「学校（大学）図書館」に行く割合が高い。（問14との比較）。特に小学生では95%以上の子どもたちが学校図書館を利用している。
- ・どの調査対象でも、前回調査時から比較し、「0回」の割合が減っている。学校（大学）図書館の活用が進んでいることがうかがえる。

<参考> 全国学校図書館協議会・毎日新聞社 第63回学校読書調査から抜粋
 本を読むために学校図書館をどのくらい利用するか

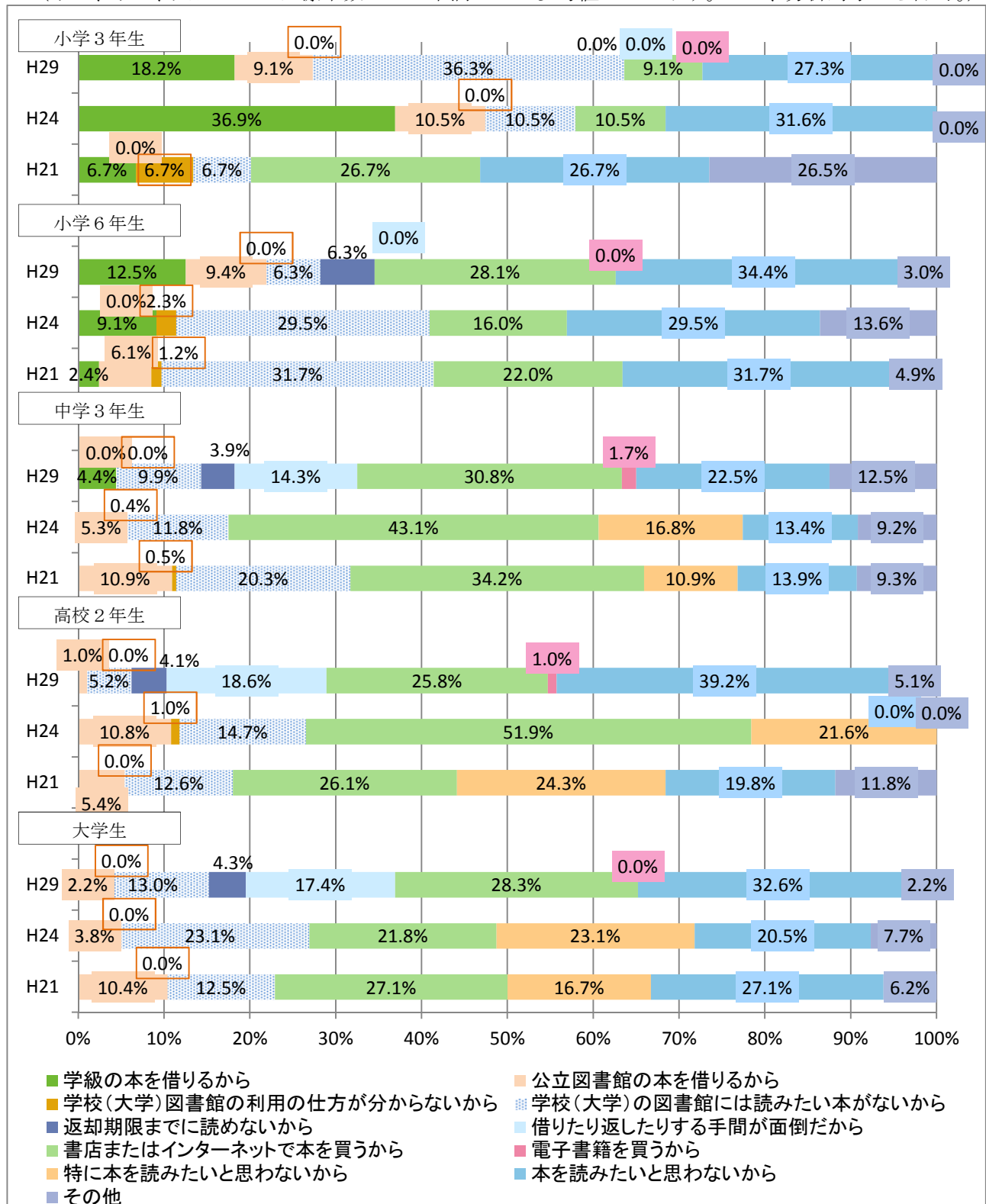


※調査対象：全国の小学生（4～6年生）3,240人、中学生（1～3年生）3,070人、高校生（1～3年生）3,614人の抽（小・中学校は都市規模別、高校は学科別にサンプル校を抽出し、各学年1クラスで実施）
 調査期間：2017年6月1・2週

問19 問18で「0回」と答えた方にお聞きします。学校(大学)の図書館に行かないのはなぜですか。

※有効回答数 小3：11、小6：32、中3：182、高2：97、大：46

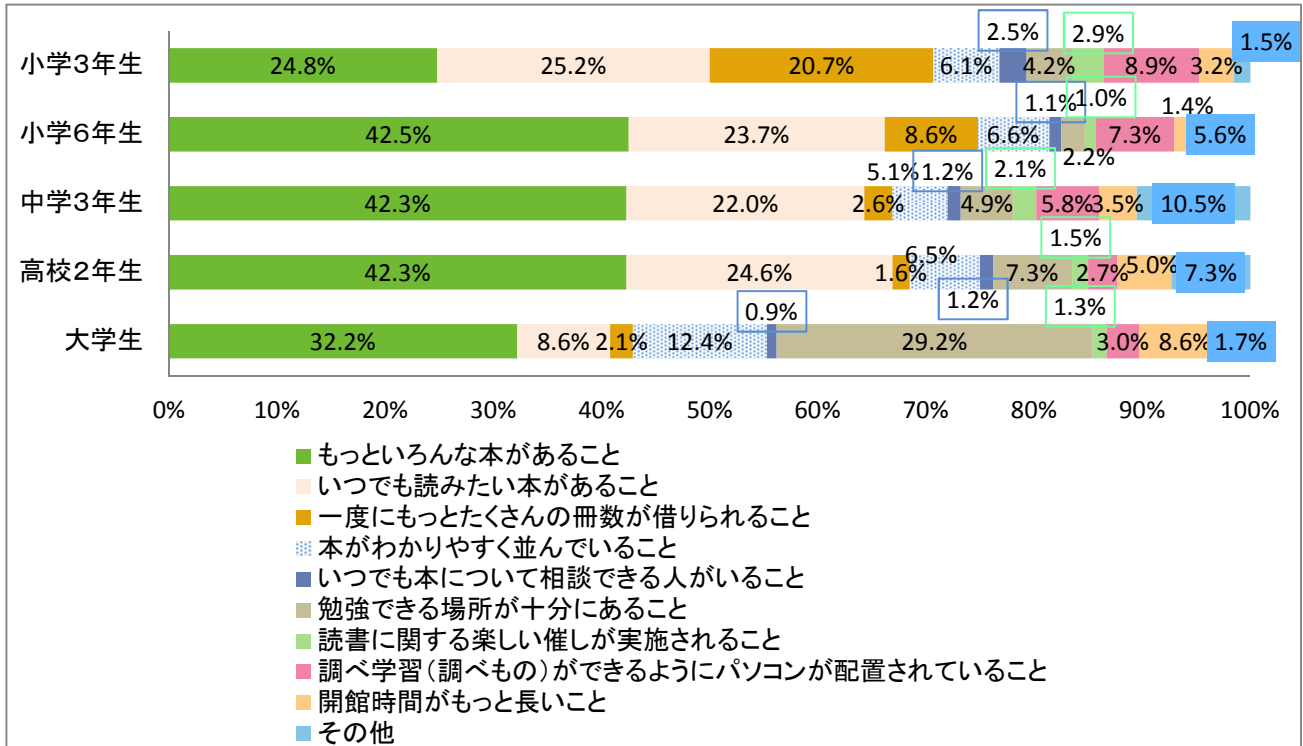
(小3、小6、大については標本数が50未満のため参考値として示す。また、分析対象から除く。)



- どの調査対象でも「本を読みたいと思わない」が約3割を占めている。
- 中学3年生以上では「書店またはインターネットで本を買うから」についても3割程度ある。書店等で読みたい本を購入する、気に入った本は手元に置いておきたい等の理由が考えられる。

問20 あなたが、学校（大学）の図書館に一番望むことは何ですか。

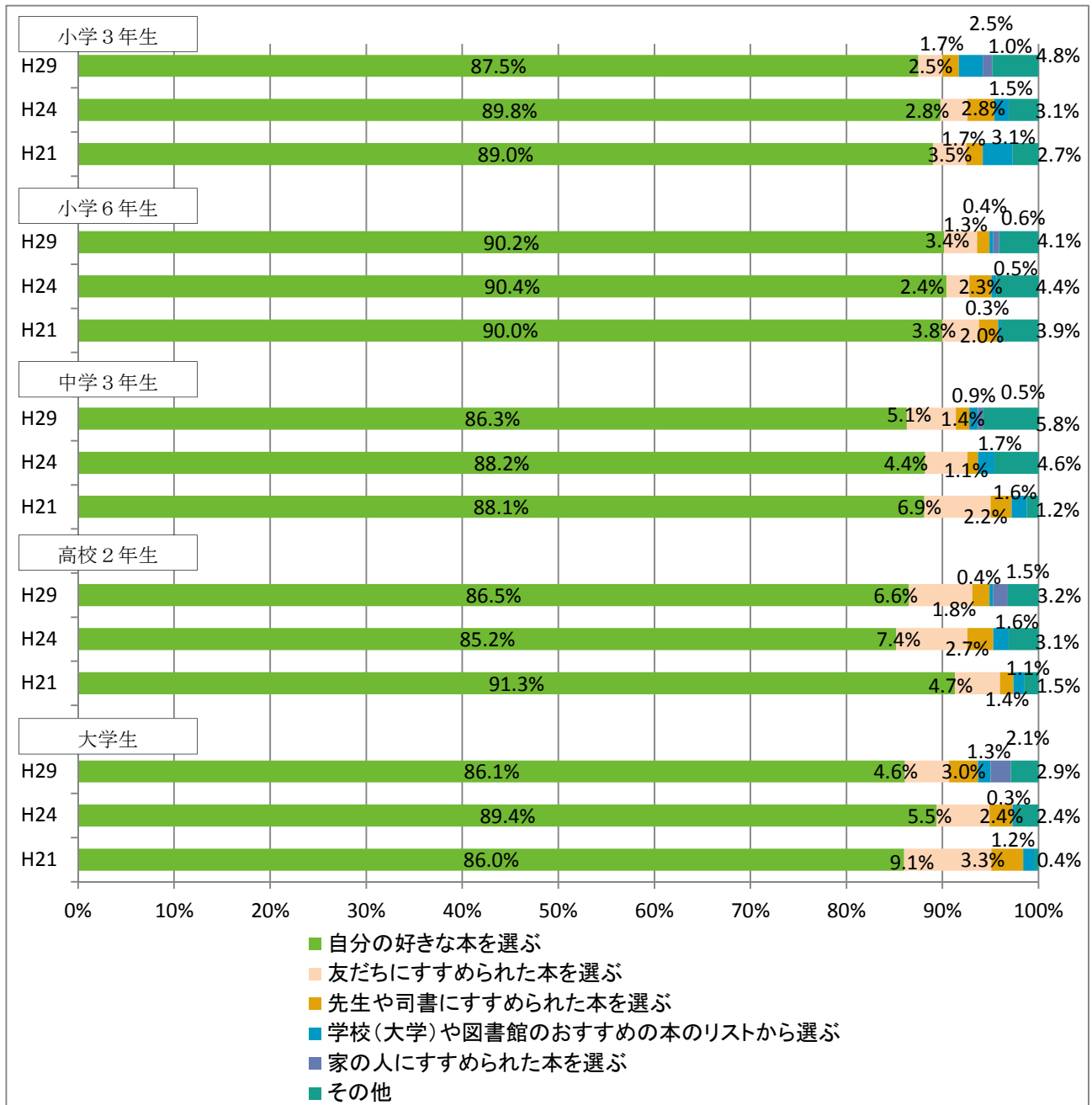
※有効回答数 小3：686、小6：723、中3：572、高2：260、大：233



- ・大学生以外のすべての調査対象で「もっといろんな本があること」(小3：24.8%、小6：42.5%、中：42.3%、高：42.3%)「いつでも読みたい本があること」(小3：25.2%、小6：23.7%、中：22.0%、高：24.6%)、大学生では「もっといろんな本があること」(32.2%)の割合が大きく、「公立図書館に望むこと」(問17)とその傾向は同様。学校図書館にある本と、子どもたちが読みたい本が一致していないことや、読みたい本はいつも貸し出し中で借りられない等の状況があるものと考えられる。
- ・大学生は「勉強ができる場所が十分にあること」が2番目に高い(29.2%)。大学図書館に学習場所としての機能を求めていることがうかがえる。
- ・「公立図書館に望むこと」(問17)と同様に、大学生になると「本がわかりやすく並んでいること」が3番目に多くなり(12.4%)、専門書等をすぐに見つけること等を期待しているものと思われる。
- ・「公立図書館に望むこと」(問17)と同様に、中学生以上について、学年が上がるほど「開館時間がもっと長いこと」が増える(中：3.5%、高：5.0%、大：8.6%)。個人で行動する時間が増えていく年代でもあることから、自分の都合のよい時間に図書館を利用したい思いが読み取れる。
- ・「公立図書館に望むこと」(問17)と同様に、「調べ学習ができるようにパソコンが配置されていること」は大学生を除いて学年が上がるほど減少の傾向がある(小3：8.9%、小6：7.3%、中：5.8%、高2：2.7%)。学年が下がるほど、個人でスマートフォン等を所持していないことが背景にあると考えられる。

問21 あなたは、本をどのように選んでいますか。

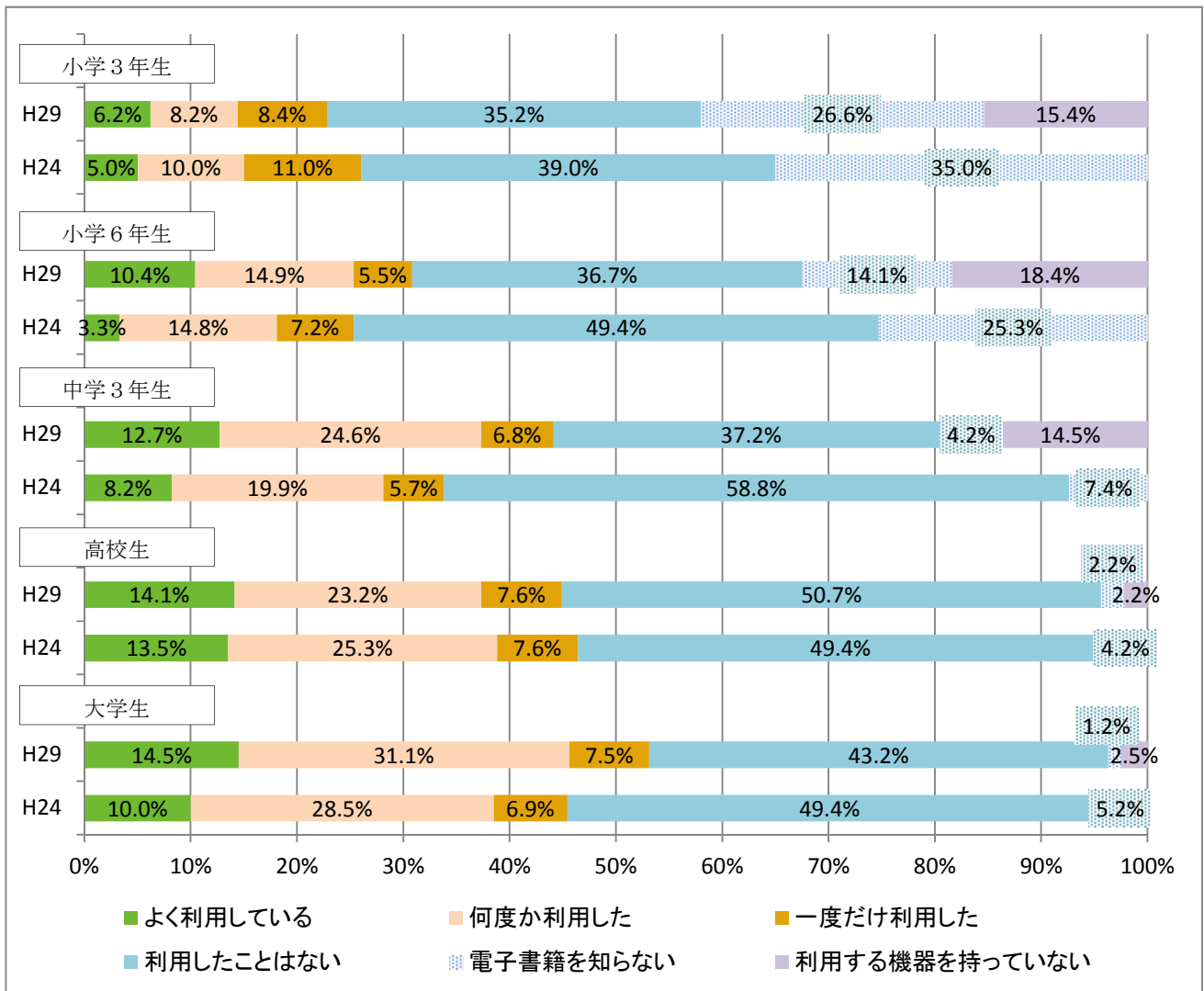
※有効回答数 小3：693、小6：726、中3：591、高2：274、大：238



- ・前回調査同様、どの調査対象でも、「自分の好きな本を選ぶ」傾向が強い。
- ・どの調査対象でも「友だちにすすめられた本を選ぶ」「先生や司書にすすめられた本を選ぶ」「家の人にすすめられた本を選ぶ」が一定程度存在する。(小3：5.2%、小6：5.3%、中：7.0%、高：9.9%、大：9.7%)

問2 2 あなたは、電子端末（タブレットや携帯電話やスマートフォンなど）を使った電子書籍を利用したことがありますか。

※有効回答数 小3：680、小6：732、中3：599、高2：276、大：241

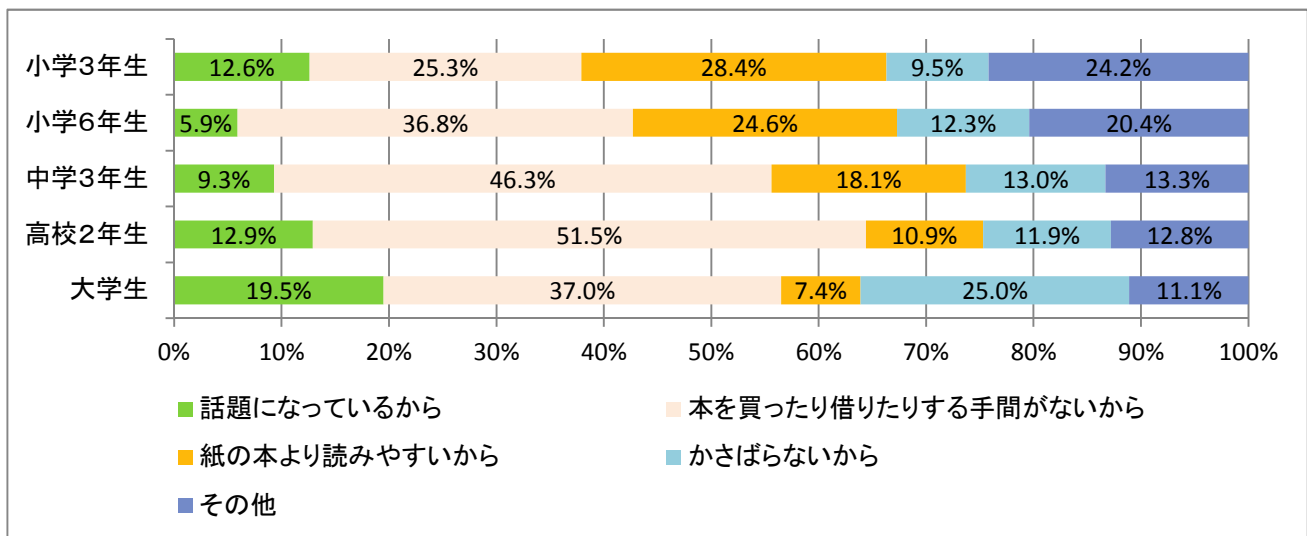


・利用したことがある割合は学年が上がるほど増加（小3：22.8%、小6：30.8%、中3：44.1%、高：44.9%、大：53.1%）しているが、大学生で約半数を超えるほかは、電子書籍をもっていない者や利用機器を持っていない者も含め、利用したことのない者が多数を占めている。

一方、前回調査と比較して、すべての調査対象で「よく利用している」が増加（小3：+1.2ポイント、小6：+7.1ポイント、中3：+4.5ポイント、高2：+0.6ポイント、大：+4.5ポイント）しており、中でも小学6年生は+7.1ポイントと大きく増加しており、電子メディア機器利用の低年齢化も影響している可能性がある。

問23 問22で「よく利用している」「何度か利用した」と答えた方にお聞きします。電子書籍を読む理由は何ですか。

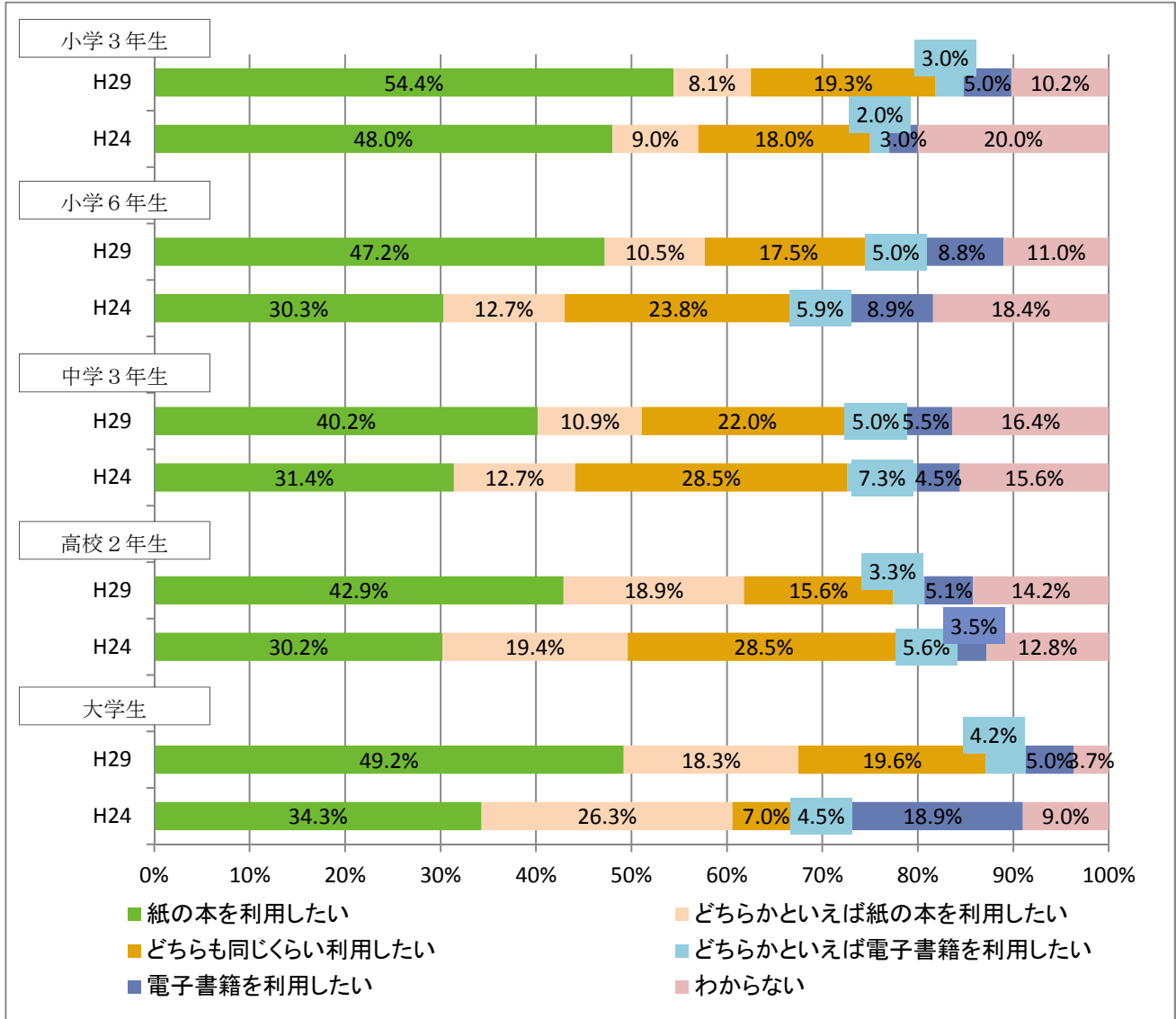
※有効回答数 小3：95、小6：171、中3：216、高2：101、大：108



- ・小学3年生以上のすべての調査対象で「本を買ったり借りたりする手間がないから」が最も多い（小6：36.8%、中：46.3%、高：51.5%、大37.0%）。（小学3年生でも2番目に多く25.3%。）
- ・小学3年生では「紙の本より読みやすいから」が最も多く（28.4%）、小学6年生、中学生でも2番目に多い（小6：24.6%、中：18.1%）。幼い頃からすでに電子メディア機器が普及しており、電子書籍が身近な存在になっていることがうかがえる。
- ・大学生になると「かさばらないから」と回答した率も25%と高くなっている。自宅での書籍の整理が必要なくなるほか、外出先での移動中や待ち時間などでの読書として電子書籍を利用する機会があるのではないかと推測できる。

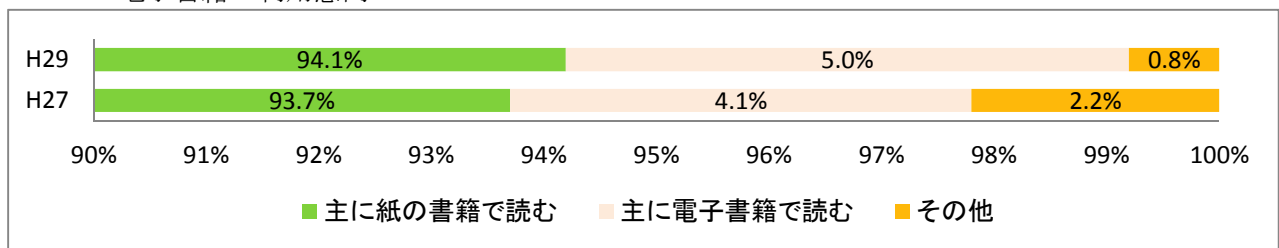
問24 あなたは、これから紙の本と電子書籍のどちらを利用したいと思いますか。

※有効回答数 小3：678、小6：702、中3：599、高2：275、大：240



・前回調査同様、「紙の本を利用したい」が最も高く（小3：54.4%、小6：47.2%、中：40.2%、高：42.9%、大：49.2%）、また、前回調査時よりその割合は増えている。「どちらかといえば紙の本を利用したい」とあわせると、どの調査対象でも5割を超える（小3：62.5%、小6：57.7%、中：51.1%、高：61.8%、大：67.5%）。

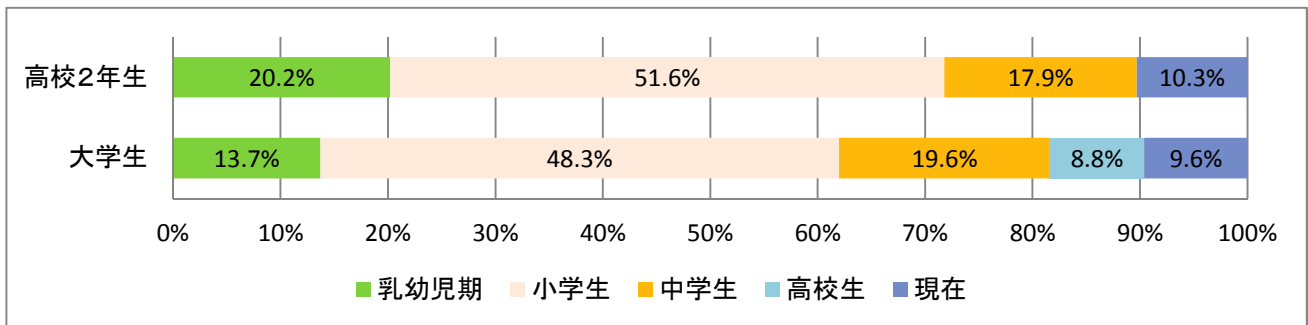
<参考>株式会社クロスマーケティング 読書に関するアンケート（2017年版）から抜粋
電子書籍の利用意向



※調査対象：東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の15～69歳の男女（有効サンプル1,200）
調査期間：平成29年10月18日～10月19日

問25 (高校生以上のみの設問) これまでを振り返って、今の読書習慣はいつの時期から始まっていますか。

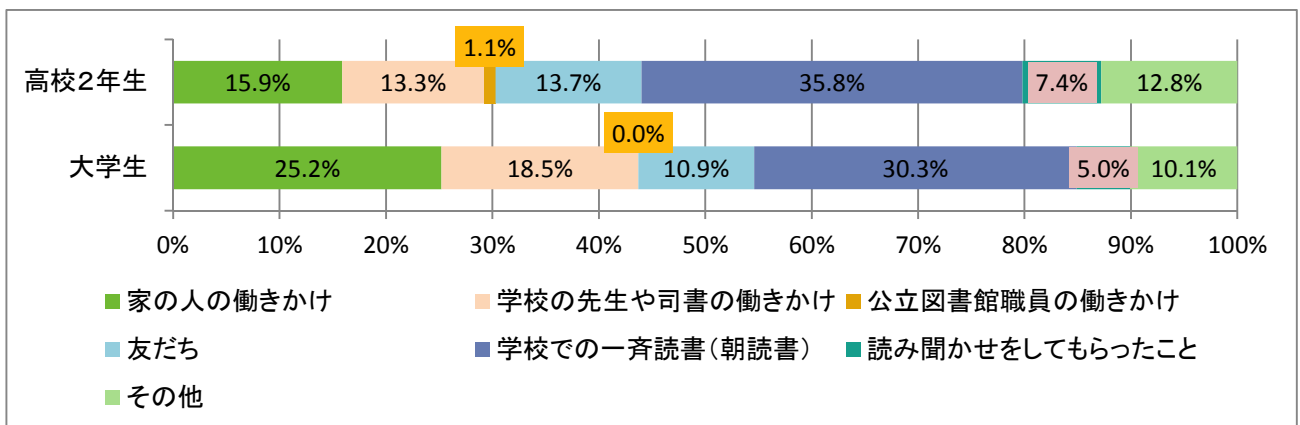
※有効回答数 高2：273、大：240



- どちらの調査対象でも「小学生」が最も高く、5割程度を占める（高：51.6%、大：48.3%）。「乳幼児期」を含めると6割を超える（高：71.8%、大：62%）。幼い頃からの習慣化が重要だと考えられる。

問26 (高校生以上のみの設問) 現在の読書習慣に影響を与えたのは何ですか。

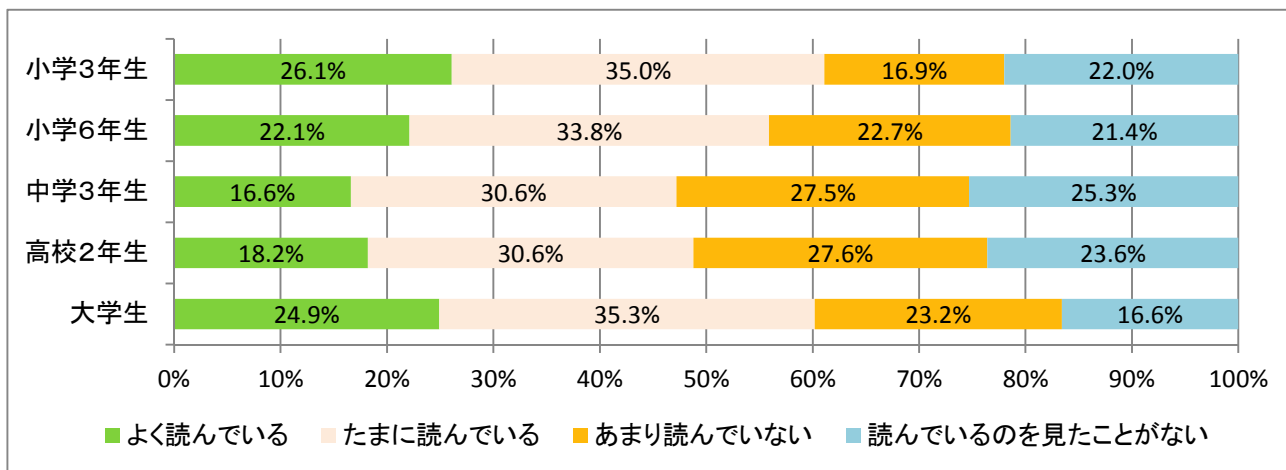
※有効回答数 高2：271、大：238



- どちらの調査対象でも「学校での一斉読書（朝読書）」の割合が最も高く、3割を超える（高：35.8%、大：30.3%）。
- また、「家の人の働きかけ」が2番目に多く（高：15.9%、大：25.2%）、「学校の先生や司書の働きかけ」（高：13.3%、大：18.5%）「友だち」（高：13.7%、大：10.9%）との回答も一定割合存在する。身近な存在が読書習慣の定着に重要な役割を果たすものと考えられる。

問27 あなたの家の人(大人)は読書をしていますか。

※有効回答数 小3：692、小6：723、中3：597、高2：275、大：241



- ・どの調査対象でも「たまに読んでいる」が最も高く、「よく読んでいる」とあわせると概ね5割程度以上の保護者が家庭で読書をしている。
- ・一方で「読んでいるのを見たことがない」が、どの調査対象でも2割程度存在している。